

過疎地域における集落の強化に関する調査報告書

地区力点検・創造の手引き（案）

平成14年3月

総務省自治行政局 過疎対策室

目 次

1. はじめに	1
1-1 地区力点検とは	1
1-2 本書の使い方	2
1-3 地区力点検ツールの概要	3
2. 地区力点検の進め方と具体的手順	10
ステップ1 市町村内における地区の状況を把握しよう	12
1-1 地区単位を設定しよう	12
1-2 地区のデータを収集・整理しよう	12
1-3 地区の状況を分析・把握しよう	15
ステップ2 地区力点検の実施に向けた準備をしよう	21
2-1 地区力点検の対象と目的を決定しよう	21
2-2 地区への動機づけと活用プランを検討しよう	22
2-3 地区に実施を呼びかけよう	23
2-4 実施体制を整えよう	24
2-5 地区力点検ツールを準備しよう	27
2-6 日程・スケジュールを決定しよう	29
ステップ3 地区力点検を実施しよう	30
3-1 ワークショップ等を開催しよう	30
3-2 チェックリストに沿って点検作業をしよう	30
3-3 地区住民アンケート票で点検作業をしよう	31
ステップ4 点検作業の結果を整理しよう	32
4-1 各種ツールの結果を整理しよう	32
4-2 地区力創造シートを準備しよう	33
ステップ5 点検結果から地区の将来等を考えよう	34
5-1 ワークショップ等を開催しよう	34
5-2 地区力創造シートで点検作業をしよう	35
ステップ6 地区力点検の成果を活かそう	36
6-1 地区力創造シートの結果を整理しよう	36
6-2 地区力強化に向けた方向性を検討しよう	36
6-3 地区力点検の成果を総括し情報を蓄積しよう	37

1. はじめに

1-1 地区力点検とは

我が国の過疎地域等においては、依然として人口の減少と高齢化が進行しており、住民の基礎的な生活単位である地区（集落、行政区等）に着目すると、地区単位におけるより一層の機能維持・強化あるいは機能的な連携・統合等の検討・取組が求められています。

このような状況に適切に対応するためには、市町村のみでなく、市町村と住民がともに地区をとりまく状況を的確に把握するとともに、将来に向けた課題等について主体的に話し合い、今後のとるべき対策等を見出していくことが極めて重要となっています。

地区力点検はそのための一つの手法であり、地区の持っている総合的な力（これを「地区力」と呼んでいます）を、地区住民と市町村が協力しながら多面的に点検することにより、地域の課題等を明らかにし、さらなる地区力の創造に向けた方向性や具体的な活動の芽を見出していく作業のことをいいます。

地区力点検では、以下に示すとおり、地区力を7つの要素から点検していきます。

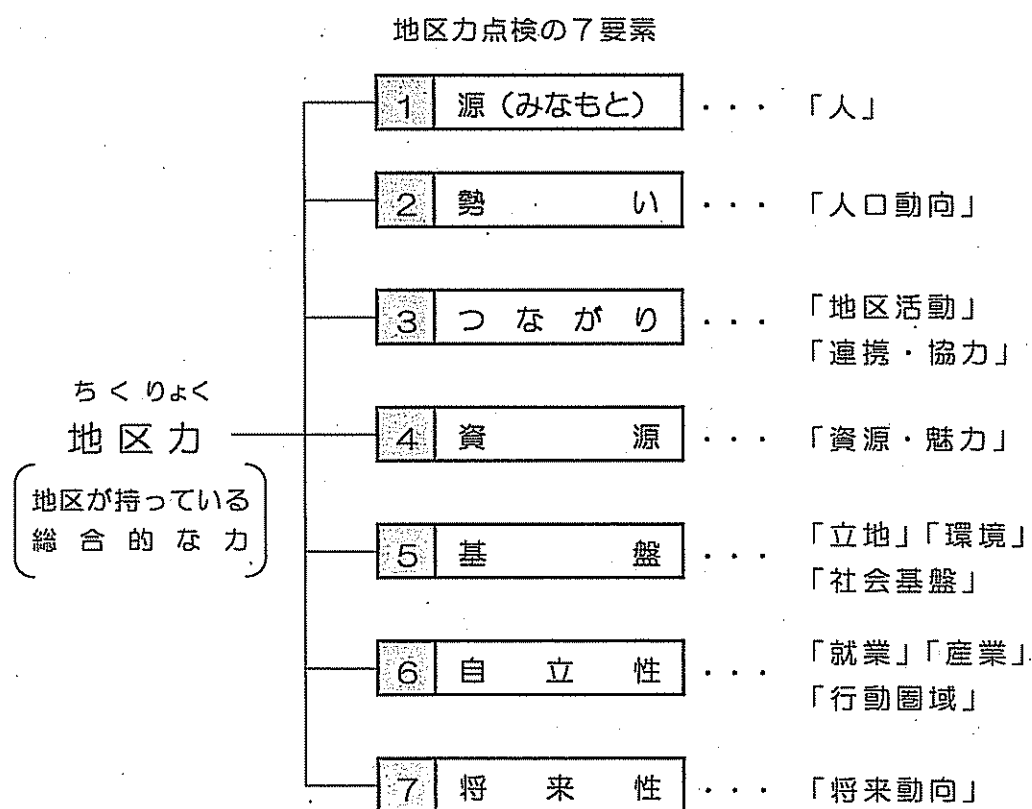


図-1 地区力点検の構成

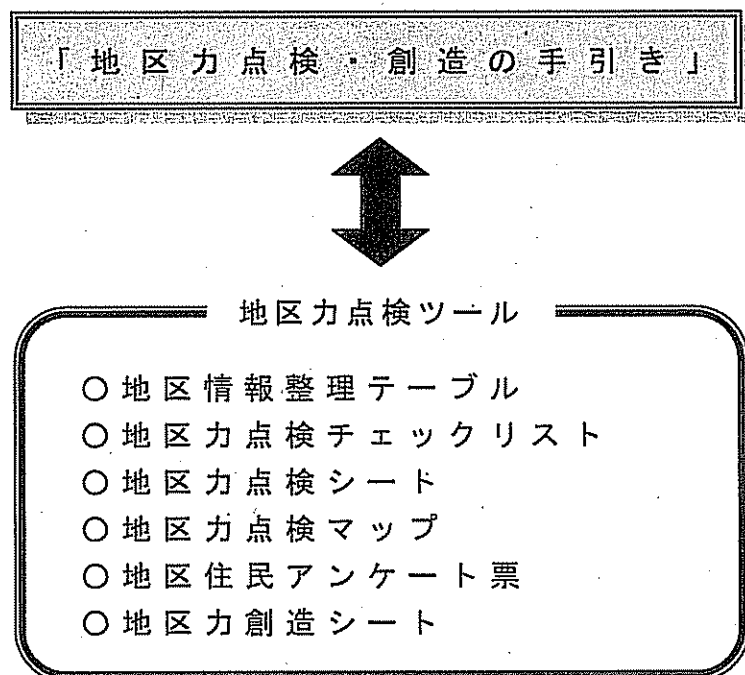
1-2 本書の使い方

地区力点検を効果的に進めるためには、地区住民が主体的に点検作業に関わる 것이重要となります。そのため、市町村担当部局・担当者において、点検作業に向けた準備、住民どうし話し合いにおけるコーディネート、点検結果のとりまとめ、活動のフォローアップ等を必要に応じて的確に行うことにより、住民主体による点検活動を積極的に支援していくことが求められます。

本書「地区力点検・創造の手引き（案）」は、市町村担当部局・担当者等が各地で地区力点検を実施する際の手引きとして利用できるよう、地区力点検の進め方と具体的手順等をまとめたものです。

地区力点検の実施・進行においては、地域の実状に即した市町村の柔軟な対応が求められます。そこで本書では、実際に地区力点検を進める場合の基本的事項を中心に整理し、各プロセスごとに留意または配慮が求められる事項等を記述しています。市町村においては、これらを参考に、市町村及び地区の状況に適したやり方で地区力点検に取り組んでください。

なお、地区力点検では、作業を効率よくかつ効果的に進めるため、これを支援する各種ツール（「地区力点検ツール」と呼んでいます）を用意しています。本書ではこれらの使い方も併せて記述していますので、本書を参考のうえ適宜、活用してください。



※上記のうち、「地区力点検マップ」以外はCD-ROMに収納

図-2 「地区力点検・創造の手引き」と「地区力点検ツール」

1-3 地区力点検ツールの概要

地区力点検ツールは、市町村と住民が協力し、主体的に話し合いながら効率よく点検作業を進めていくための具体的な道具です。

本書では、地区力点検ツールとして、表-1に示す6種類を利用し、このうち地区力点検マップを除く5種類については、雛形（またはサンプル）を電子ファイルで提供しています。これらはいずれも本書が掲載されているCD-ROMに収納されていますので、CD-ROMのタイトル画面にしたがって必要なファイルを取り出してください。

表-1 地区力点検ツールの概要

点検ツール	形式	概 要
1) 地区情報整理 テーブル	Excel	市町村における地区別の基本的なデータを一元的に整理し、これをもとに地区の状況（指標別地区構成、基本統計量、地区別順位付けなど）を分析・把握したり、任意の地区の情報シートを出力するための表です。 ⇒P4 参照
2) 地区力点検 チェックリスト	Word PDF	地区力点検に際しての具体的な項目を、図-1に示した7要素ごとに整理した点検項目リストです。地区力の点検作業においては、このチェックリストの点検項目に沿って、住民が（あるいは市町村も含めて）地区の状況等について話し合い、点検を行っていきます。 ⇒P5 参照
3) 地区力点検 シート	Word PDF	上記の地区力点検チェックリストの点検項目と対応させた記入用シートです。点検項目に沿って話し合った結果や確認できた数字、気づいたこと、考えたことなどをこの点検シートに記入していきます。 ⇒P6 参照
4) 地区力点検 マップ	—	地区力点検チェックリストの項目のなかには、地域資源や環境の点検など、場所を特定できる内容もあり、そのような点検結果を記入するための地図です。市町村が保有している既存の地図を活用します。対象となる地区の様子がはっきりとわかる比較的大きな地図が効果的です。 ⇒P7 参照
5) 地区住民 アンケート票	Word PDF	地区の各世帯を対象としたアンケート票のサンプルです。地区の規模や点検内容等によっては、住民が集まって共同で確認・把握するよりも、アンケートで世帯個別に調査・把握したほうが効率的な場合があります。また、事前に地区力点検に関する関心や参加の意向を把握したり、点検作業に参加できなかった人の意見を把握する場合もアンケートは有効です。そのような状況を4ケース想定し、各ケースに対してアンケート票のサンプルを作成・提供しています。 ⇒P8 参照
6) 地区力創造 シート	Word PDF	上記5種類のツールを用いた点検結果をもとに、あらためて発見したことや感じたことは何か、今後どのようにするのが望ましいか、そのためには地区としてどのようにしていきたいかを検討し、その結果を記入するためのシートです。 ⇒P9 参照

※Excel : 表計算ソフト Excel (マイクロソフト社) で利用するファイル形式

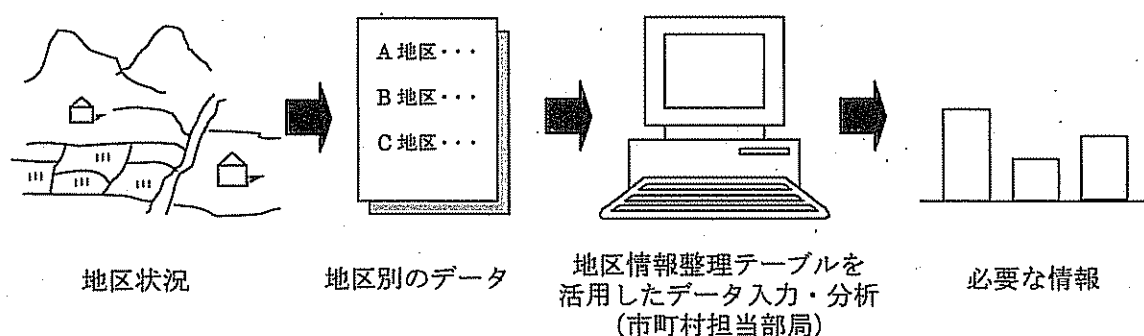
Word : ワードプロソフト Word (マイクロソフト社) で利用するファイル形式

PDF : 閲覧用ソフト Acrobat Reader (アドビシステムズ社) で利用するファイル形式

1) 地区情報整理テーブル

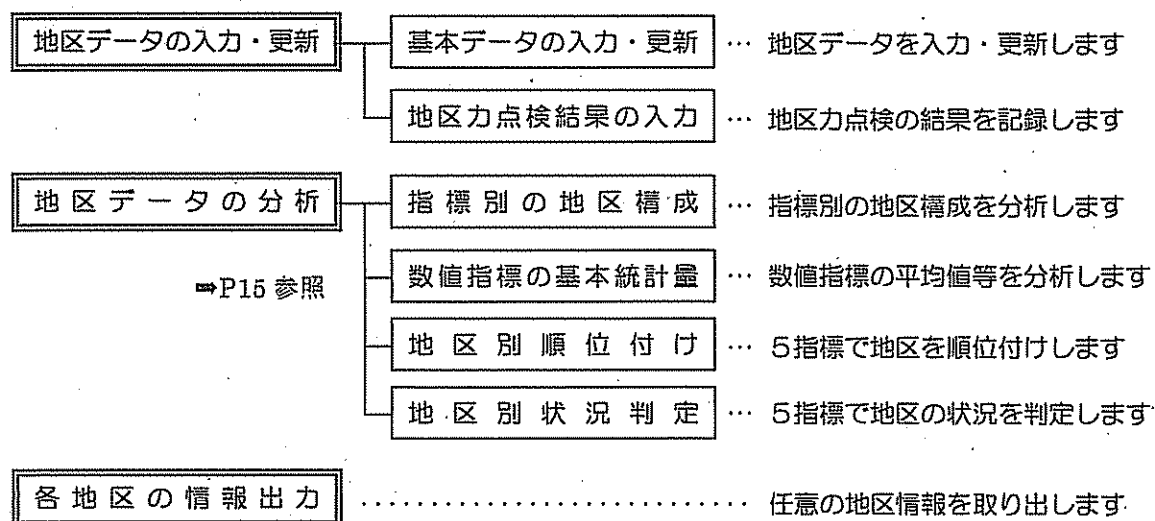
地区情報整理テーブルは、市町村における地区別の基本的なデータを一元的に整理し、これをもとに地区の状況（指標別地区構成、基本統計量、地区別順位付けなど）を分析・把握したり、任意の地区の情報シートを出力するためのエクセル形式のワークシート（マクロを含む）です。

<利用イメージ>



<メニューと内容>

ファイルを開くとメニュー画面が開きます。目的に応じてメニューを選択します。



<利用に際しての留意点>

- ・地区情報整理テーブルは、分析機能の一部をマクロで組み立てています。そのためファイルを開く場合、最初に「マクロを無効にする」か「マクロを有効にする」のどちらにするかを聞いてきます。分析機能を利用するために「マクロを有効にする」を選択してください。
- ・地区情報整理テーブルの各メニューの利用方法、各種分析に際しての操作方法など、詳細については、地区情報整理テーブルに記載されている「地区情報整理テーブルの使い方」をご覧ください。

2) 地区力点検チェックリスト

地区力点検チェックリストは、点検項目を図-1に示した7要素別に整理したリストです。点検の視点や内容を質問形式で示しており、その結果をどこに記入するのかも併せて記載しています。地区力点検においては、このチェックリストの点検項目に沿って、住民が（あるいは市町村も含めて）地区の状況等について話し合い、調査・確認等を行いながら、点検作業を進めていくことになります。

<地区力点検チェックリストの実物イメージ>

◆1 地区力の源（みなもと）を点検しよう

◎ 地区に住んでいる人について

<結果記入>

- | | | |
|------------------------------|--------------------------------------|------------|
| ☐ 1-1 | いくつの年齢の人が何人住んでいますか
(男女別・5歳階級別の人口) | ⇒ 点検シート P1 |
| ☐ 1-2 | どのような人数の世帯がいくつありますか
(世帯人員別の世帯数) | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-3 | 高齢者(65歳以上の人)だけで暮らしている世帯はいくつありますか | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-4 | 後継者やあとつぎがいて、現在一緒に住んでいる世帯はいくつありますか | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-5 | 地区のリーダーとなる人はいますか | ⇒ 点検シート P2 |

◎ 地区の外に住んでいる家族について

<結果記入>

- | | | |
|-------------------------------|---|------------|
| ☐ 1-6 | 地区に住む世帯のうち、他の地区(同じ市町村内)に家のあとつぎの人が住んでいる世帯はいくつありますか | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-7 | 地区に住む世帯のうち、他の地区(同じ市町村内)に家族(子どもや兄弟)が住んでいる世帯はいくつありますか | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-8 | 他の地区や他の市町村に家族がいて、よく訪れてくるところは、地区に何世帯ありますか (週に1回以上) | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-9 | (続き) また、そのよく訪れてくる人は地区であわせて何人くらいいますか | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-10 | 他の地区や他の市町村に家族がいて、時々訪れてくるところは、地区に何世帯ありますか (月に1~2回程度) | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-11 | (続き) また、その時々訪れてくる人は地区であわせて何人くらいいますか | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-12 | 上記と同様に、地区に住む高齢者一人暮らしの世帯についてはどうですか。 | ⇒ 点検シート P2 |
| ☐ 1-13 | 上記と同様に、地区に住む高齢者の夫婦のみの世帯についてはどうですか。 | ⇒ 点検シート P2 |

3) 地区力点検シート

地区力点検シートは、前記の地区力点検チェックリストに沿って住民が話し合い、点検した結果を記入するためのシートです。それぞれの記入欄には、対応するチェックリストの設問番号を記載しています。

<地区力点検シートの実物イメージ>

○地区の世帯数 (1-2, 1-3, 1-4) (単位: 世帯)

世帯人員 (同居)	10年前、地区に住んでいた世帯				現在、地区に住んでいる世帯			
	総 数	高齢者だけの世帯	後継者のいる世帯		総 数	高齢者だけの世帯	後継者のいる世帯	
1人								
2人								
3人								
4人								
5人以上								
不 詳								
合 計								

※上記の世帯数は、行政担当者のほうで住民基本台帳等をもとにあらかじめ記入しておき、点検作業で確認・更新してください。

○地区のリーダー (1-5)

a. いる (人数: 年齢:)

b. いない

○地区の外に家族がいる世帯数 (1-6 から 1-13)

世帯のタイプ	地区の全世帯について	高齢者の一人暮らしの世帯について	高齢者の夫婦のみの世帯について
他の地区(同じ市町村内)に家のあ とつぎに住んでいる世帯	世帯	世帯	世帯
他の地区(同じ市町村内)に子ども や兄弟が住んでいる世帯	世帯	世帯	世帯
他の地区や他の市町村に、よく訪れ てくる家族がいる世帯(週1回以上)	世帯	世帯	世帯
よく訪れてくる人の数(合計)	人	人	人
他の地区や他の市町村に、時々訪れ てくる家族がいる世帯(月1~2回)	世帯	世帯	世帯
時々訪れてくる人の数(合計)	人	人	人

※よく訪れてくる目安、時々訪れてくる目安は、必要に応じて変更してください。

4) 地区力点検マップ

地区力点検マップは、地区力点検シートと同様に、地区力点検チェックリストに基づく点検結果を記入するための地図です。チェックリストの項目のなかには、地域資源や環境の点検など、場所を特定できる内容もあり、そのような場合はシートに結果を記入するよりも、地図上に記入した方が位置的な関係や面的な広がりをとらえやすく、地区住民から新たな発見や発想などが出てきやすいと考えられます。そのような点検項目については、地区力点検チェックリストの「結果記入」の欄に点検マップに記入するように記述しています。

地区力点検マップについては、特別な地図を用意する必要はなく、市町村が保有している既存の地図を活用します。対象となる地区及びその周辺の様子がはっきりとわかる比較的大きな地図が効果的です。

<地区力点検マップの使い方>

地区力点検マップの使い方としては、以下のとおり、いくつかの方法が考えられます。地区の状況等に応じて、適当な方法で利用してください。

例① マジック等で色分けをしながら、地区住民が共同で、点検した内容を直接地図に書き込みます（チェックリストの点検項目の番号も一緒に記入）。電子ファイルで雛形として提供している地区力点検チェックリストは、この方法を想定して作成しており、次のようなマジック等の色分けをしています。

- 青・・・地区の資源や魅力（活用する価値・可能性のあるプラスの要素）
- 緑・・・地区のよい環境（生活を豊かにするプラスの要素）
- 赤・・・地区のわるい環境（生活をする上でのマイナスの要素）

例② 点検した内容を付箋紙に記入し（チェックリストの点検項目の番号も一緒に記入）、地図の上に貼っていきます。この場合、付箋紙の色分けについても、例えば上記と同様に意味を持たせると効果的です。また、付箋紙の特徴を活かして、気づいた点や考えたことを各個人に自由に地図に貼ってもらい、それを住民が共同で見直ししながら、共通なものをまとめていくやり方もいいでしょう。

例③ 対象となる地区及び地区周辺が載っている大きな地図と小さな地図（A4 サイズ程度、縮小コピーで可）を用意します。まず、住民がそれぞれ小さな地図を持って、地区やその周辺を実際に歩きながら気づいた点等を地図に書き込みます。そしてワークショップ等の場で、その小さな地図を持ち寄り、上記の例①あるいは例②のやり方で、地区住民の点検結果を大きな地図に表していきます。

5) 地区住民アンケート票

地区住民アンケート票は、地区住民（世帯）を対象とした地区力点検に関するアンケート票のサンプルです（依頼状を含む）。地区の規模や点検内容等によっては、住民が集まって共同で確認・把握するよりも、アンケートで世帯個別に調査・把握したほうが効率的な場合があります。例えば、地区の世帯数が多くなると、全住民が集まって話し合いで地区の人口や世帯数、家族等に関する点検を行うことは難しくなります。また、地区の外に住む家族の状況など、世帯個別の状況に関しては、住民が集まった場では話しにくい場合もあるでしょう。そのほか、事前に地区力点検に関する住民の関心や参加の意向を把握したり、点検作業に参加できなかった人の意見を把握する場合にもアンケートは有効です。

そのような状況を以下のとおり 4 ケース想定し、各ケースに対してアンケート票のサンプルを作成・提供しています。

<地区住民アンケート票の活用ケース>

■ケース 1	地区力点検の取組に向けて、住民の関心や参加の意向等を事前に把握し、住民の主体的な参加による地区力点検が実施できそうかどうかを検討する場合 <設問例> 問 地区の住民が集まり、現在の地区のようすを点検・確認し、これからのことをみんなで考えていく取組について、関心がありますか。 問 上記の取組を行う場合の参加について、どのようにお考えですか。
■ケース 2	地区力点検チェックリストのうち、各世帯の状況や考え方に関する点検項目を効率よく確認・把握する場合 <設問例> 問 家の後継者・あとつぎの人は、一緒に住んでいますか。 問 同じ市町村の他の地区に、家のあとつぎ・後継者が住んでいますか。 問 同じ市町村の他の地区に、子どもや兄弟が住んでいますか。
■ケース 3	地区力点検チェックリストにある点検項目以外について、地区における住民意識の傾向を把握し、地区力点検の結果を補充する場合 <設問例> 問 現在住んでいる地区は住みやすいですか 問 これからもこの地区に住みたいとお考えですか。
■ケース 4	地区力点検のワークショップや会議等に参加できなかった住民に対して、地区力点検の結果（完成させた地区力点検シートや地区力創造シートなど）を報告・回覧し、それに関する意見等を収集する場合 <設問例> 問 別紙の「地区力点検の結果」をご覧のうえ、意見・感想などを自由にご記入ください。

6) 地区力創造シート

地区力創造シートは、これまでの5種類のツールを用いて行ってきた点検結果にもとづいて、再度、住民が（あるいは市町村も含めて）話し合い、あらためて発見したことや感じたことは何か、今後どのようなようになるのが望ましいか、そのためには地区としてどのようにしていきたいかを検討し、その結果を記入するためのシートです。

<地区力創造シートの実物イメージ>

◆ 1. 地区力の源（みなもと）について

地区力点検の結果をもう一度見直してみよう

<見直すときの視点（例）>

○地区の人口、世帯数は、近年どのように変わってきていますか。

○1世帯あたりの人数（一緒に住む家族の人数）は増えていますか、減っていますか。

○地区の高齢者や若者の数はどう変化していますか。増えていますか、減っていますか。

○どれだけの人がなぜ他の地区へ移ったのですか。逆にこの地区に移ってきたのですか。

○以上のような傾向は、今後変わりそうですか。



ステップ1 点検結果からあらためて発見したこと、感じたことは何ですか？

ステップ2 今後どのようなようになるのが望ましいですか？

ステップ3 そのために地区としてどのようにしていきたいですか？

2. 地区力点検の進め方と具体的手順

地区力点検は、以下に示すような6つのステップで進めていきます。

外部協力者（大学、地域づくりアドバイザー、民間コンサルティング等）の指導・助言を得ながら進めていくことも効果的です。

本章では、各ステップごとに、具体的手順、地区力点検ツールの利用方法、実施・進行に際しての配慮事項等をまとめています。

- ◆ステップ1：市町村における地区情報整理テーブルを活用した地区データの収集・分析
- ◆ステップ2：地区力点検の実施に向けた目標設定、各種ツールの準備、実施体制づくり
- ◆ステップ3：市町村及び地区住民の協同による地区力点検の具体的作業
- ◆ステップ4：地区力点検作業の結果とりまとめ
- ◆ステップ5：市町村及び地区住民の協同による点検結果を踏まえた具体的検討作業
- ◆ステップ6：地区力点検に関する成果の把握と地区力強化に向けた検討

<ステップ1>

①市町村内における地区の状況を把握しよう

- 1-1 地区単位を設定しよう
- 1-2 地区のデータを収集・整理しよう
- 1-3 地区の状況を分析・把握しよう

使用ツール：地区情報整理テーブル



<ステップ2>

②地区力点検の実施に向けた準備をしよう

- 2-1 地区力点検の対象と目的を決定しよう
- 2-2 地区への動機づけと活用プランを検討しよう
- 2-3 地区に実施を呼びかけよう
- 2-4 実施体制を整えよう
- 2-5 地区力点検ツールを準備しよう
- 2-6 日程・スケジュールを決定しよう



↓
<ステップ3>

③ 地区力点検を実施しよう

- 3-1 ワークショップ等を開催しよう
- 3-2 チェックリストに沿って点検作業をしよう
- 3-3 地区住民アンケート票で点検作業をしよう

使用ツール：地区力点検チェックリスト
地区力点検シート、(地区力点検マップ)
地区住民アンケート票

↓
<ステップ4>

④ 点検作業の結果を整理しよう

- 4-1 各種ツールの結果を整理しよう
- 4-2 地区力創造シートを準備しよう

↓
<ステップ5>

⑤ 点検結果から地区の将来等を考えよう

- 5-1 ワークショップ等を開催しよう
- 5-2 地区力創造シートで点検作業をしよう

使用ツール：地区力創造シート

↓
<ステップ6>

⑥ 地区力点検の成果を活かそう

- 6-1 地区力創造シートの結果を整理しよう
- 6-2 地区力強化に向けた方向性を検討しよう
- 6-3 地区力点検の成果を総括し情報を蓄積しよう

↓
地区力強化に向けた具体的な取組へ

※2重線枠は住民の主体的な点検作業が特に望まれるステップです。

図-3 地区力点検の進め方

ステップ1 市町村内における地区の状況を把握しよう

ステップ1では、地区力点検支援ツールの一つである「地区情報整理テーブル」を用いて、市町村内の各地区に関するデータを収集・整理し、様々な指標から地区の状況を分析することにより、地域の現状を客観的に把握していきます。

1-1 地区単位を設定しよう

最初に、市町村における地区データとして収集・整理する際の「地区」の単位、つまり「基本的な地域単位」を設定します。

市町村において、地域の振興等に向けた施策を実施・検討する場合に最もふさわしい「基本的な地域単位」を柔軟に設定してください。既存の地域単位にあわせても、新たに設定してもかまいません。

市町村と住民の協同による地区力点検作業の実施を考慮すると、その地区単位で住民のまとまりがあり、ある程度のデータが収集・把握できることが望まれますが、必ずしもここで決めた地区単位で点検作業を実施しなければならないということではありません。地区力点検作業については、地域の課題や点検の目的等に応じて、複数の地区で一緒に実施してもいいし、部分的に実施してもかまいません。

<地区単位の設定例>

- 1) 集落、常会、組
- 2) 行政区、町内、大字、字
- 3) 地域協議会、地域振興会
- 4) 小学校区 など

1-2 地区のデータを収集・整理しよう

地区単位を設定したら、地区に関する各種データを収集し、地区情報整理テーブルを用いて整理します。地区情報整理テーブルには、次頁の表-2に示すとおり、基本的なデータ項目のみを初期設定として整備しています。市町村において可能な範囲でデータを収集し、地区ごとにデータを入力してください。

不明・不確実なデータ等については、必要に応じて、地区力点検作業の中で収集・確認してください。

市町村において初期設定の項目以外に地区別のデータや情報を保有しており、これも一元的に整理したい場合は、データ項目を適宜追加・更新し、データを入力してください。

※その場合は、地区情報整理テーブルの分析機能の設定に影響が出ないよう、ご注意ください。

表－２ 地区情報整理テーブルの地区データ項目（初期設定）

I. 基本属性

データ項目	内 容
地区名	地区の名称
旧村名	旧村の名称
単位地域名	大字、校区、振興会など、地区よりも広域な単位の名称
地区類型	地区（集落等）の機能からみた類型 「中心」：地域の中心的な地区 「基幹」：地区間の要となっている基幹的な地区 「基礎」：その他の基礎的な地区
地域区分	農業集落類型による区分 「都 市」：DID 面積のある地域 「平 地」：林野率が 50%未満で、かつ耕地率 20%以上の地域 「中間地」：山間地と平地の中間にある地域 「山間地」：林野率が 80%以上の地域
地形的末端	地形的な行き止まりの状況 「地形的末端」：地形的な行き止まり地区 「末端ではない」：地形的な行き止まりではない地区

II. 人口・世帯・就業者

データ項目	内 容
現在の人口	国勢調査、住民基本台帳等による現在の地区人口
0～14 歳	0 歳から 14 歳までの人口※
15～29 歳	15 歳から 29 歳までの人口（若年者人口）※
30～64 歳	30 歳から 64 歳までの人口※
65 歳以上	65 歳以上の人口（高齢者人口）※
現在の世帯数	国勢調査、住民基本台帳等による現在の地区世帯数
高齢者世帯	高齢者のみの世帯数※
就業者数	現在の地区の就業者数
第 1 次産業	第 1 次産業の就業者数※
第 2 次産業	第 2 次産業の就業者数※
第 3 次産業	第 3 次産業の就業者数※
人口の推移	－
S60 ～ H12	昭和 60 年、平成 2 年、7 年、12 年の人口
H2→12 増減率	平成 2 年から 12 年までの 10 年間の人口増減率（上記より算出）
世帯数の推移	－
S60 ～ H12	昭和 60 年、平成 2 年、7 年、12 年の世帯数
H2→12 増減率	平成 2 年から 12 年までの 10 年間の世帯数増減率（上記より算出）

※印のデータ項目は、全体の値に対する構成割合が自動的に算出されます。

Ⅲ. 地区特性

データ項目	内 容
土地利用面積	地区の総面積
宅地	宅地面積（データがある場合のみ）
農地	農地面積（データがある場合のみ）
山林	山林面積（データがある場合のみ）
施設等の整備状況	—
集会施設	集会所、公民館など、集会施設の有無
医療施設	病院、診療所、医院など、医療施設の有無
観光施設	物産館、交流施設など、観光施設の有無
広場・公園	広場や公園の有無
バス停	バス停（フリー乗車区間等を含む）の有無
道のり	—
役場まで	市役所・役場までの道のり
小学校まで	近くの小学校までの道のり
医療施設まで	近くの病院、診療所、医院までの道のり
買い物まで	普段買い物をする場所までの道のり
バス停まで	地区からバス停までの道のり

Ⅳ. 住民活動

データ項目	内 容
地域リーダー	地域リーダーの有無
機能の維持状況	「良好」：良好に維持されている地区 「普通」：特に良好でも困難でもない地区 「困難」：機能の維持が困難な地区
祭り	祭りの有無
住民活動の活発度	「活発」：住民が活発な活動を行っている地区 「普通」：住民の活動が特に活発でも停滞状態でもない地区 「停滞」：住民の活動が停滞している地区

Ⅴ. 将来動向

データ項目	内 容
10年後の推計値	—
推計人口	現在の人口に H2→H12 人口増減率をかけて算出した人口
推計世帯数	現在の世帯数に H2→H12 世帯数増減率をかけて算出した世帯数
今後の人口動向	「増 加」：今後人口が増加すると想定される地区 「横ばい」：今後人口が横ばいに推移すると想定される地区 「減 少」：今後人口が減少すると想定される地区
消滅の可能性	「10 年以内」：今後 10 年以内に消滅・無人化の可能性のある地区 「10 年以降」：今後 10 年以降に消滅・無人化の可能性のある地区 「消滅の可能性なし」：消滅・無人化の可能性がない地区
地区事業状況	地区を対象とした事業（ハード・ソフト問わず適宜設定）の実施状況 「実施中」「実施予定」「検討中」「実施済み」「なし」

1-3 地区の状況を分析・把握しよう

地区情報整理テーブルの分析機能を利用して、入力・整理した地区データをもとに、市町村における地区の状況を分析・把握します。地区情報整理テーブルの分析機能とその内容は、表－3に示すとおりです。

表－3 地区情報整理テーブルの分析機能

分 析 機 能	分析内容と得られる情報
1 指標別にみた地区構成の分析 ⇒P16 参照	表－2で示したデータ項目のうち、主な項目について、各分類に該当する地区数と全体に占める割合を計算します。これによって市町村内にどのような地区がどれだけあるかを把握することができます。 <例> ・人口規模別にみた地区構成 ・人口増減率別にみた地区構成 ・住民活動の活発度別にみた地区構成 など
2 数値指標の基本統計量の分析 ⇒P18 参照	人口、世帯数などの数値データ項目について、市町村全体でみた場合の基本統計量（平均値、中央値、最大値、最小値、標準偏差）を計算します。これによって、市町村における地区の平均的な規模、人口動向、立地状況や各データの格差などを把握することができます。 <数値データ項目> ・人口（年齢階層別含む）、世帯数 ・若年者比率、高齢者比率、 ・高齢者世帯数、高齢者世帯割合 ・人口増減率、世帯数増減率 ・就業者数及び就業者割合（産業別含む） ・地区面積、宅地・農地・山林面積及び割合 ・主要施設等までの道のり
3 地区別にみた順位付け ⇒P19 参照	数値データ項目のうち、現在の人口、世帯数、若年者数、高齢者比率、人口増減率の5つについて、地区別の順位を求め、それを単純に合計して総合順位を計算します。（5つの項目から任意の項目を選択して総合順位を計算できます。）これによって、市町村における地区特性の相対的な違いをある程度把握することができます。
4 地区別にみた状況判定 ⇒P20 参照	上記と同様の指標について、設定区分別に得点（1～5点）を計算し、これを単純に合計して総合的なランク付け（A～Dの4段階）を行います。これによって、市町村における地区特性の状況をある程度把握することができます。また、上記3の順位付けとは異なり、相対的な判定ではないため、他市町村の結果との比較も可能です。

※操作方法等は、地区情報整理テーブルに記載されている「地区情報整理テーブルの使い方」をご覧ください。

機能 1 指標別にみた地区構成の分析 画面出力イメージ

指 標		分 類	地区数	構成割合	(参考) 全国過疎 地域平均
I 基本 属性	①地区類型	中心的な地区	1	3.8%	4.9%
		基幹的な地区	4	15.4%	9.9%
		基礎的な地区	21	80.8%	84.5%
	②地域区分	都市的地域	0	0.0%	3.6%
		平地農業地域	0	0.0%	26.3%
		中間農業地域	0	0.0%	29.4%
		山間農業地域	26	100.0%	39.1%
	③地形的末端	末端・行き止まりである	2	7.7%	8.9%
		末端・行き止まりでない	24	92.3%	91.1%
II 人口・世帯・就業者	④人口	～ 24人	4	15.4%	8.5%
		25 ～ 49人	13	50.0%	16.1%
		50 ～ 99人	7	26.9%	27.3%
		100 ～ 199人	0	0.0%	25.4%
		200人 以上	0	0.0%	22.4%
	⑤若年者比率 (15～29歳)	10%未満	12	46.2%	—
		10%以上 ～ 20%未満	10	38.5%	—
		20%以上 ～ 30%未満	4	15.4%	—
		30%以上 ～ 40%未満	0	0.0%	—
		40%以上	0	0.0%	—
	⑥高齢者比率 (65歳以上)	20%未満	2	7.7%	—
		20%以上 ～ 40%未満	12	46.2%	—
		40%以上 ～ 60%未満	7	26.9%	—
		60%以上 ～ 70%未満	4	15.4%	—
		70%以上	1	3.8%	—
	⑦世帯数	～ 9世帯	6	23.1%	10.3%
		10 ～ 19世帯	14	53.8%	21.8%
		20 ～ 29世帯	1	3.8%	17.2%
		30 ～ 49世帯	5	19.2%	20.5%
		50 ～ 99世帯	0	0.0%	18.3%
		100世帯 以上	0	0.0%	11.7%
	⑧就業者数	～ 19人	12	46.2%	—
		20 ～ 49人	12	46.2%	—
		50 ～ 99人	2	7.7%	—
		100人 以上	0	0.0%	—
	⑨10年間 (H2→H12) の人口増減率	-0.25未満	4	15.4%	16.3%
		-0.25以上 ～ -0.1未満	5	19.2%	39.6%
		-0.1以上 ～ 0.1未満	12	46.2%	33.8%
		0.1以上	5	19.2%	6.8%
	⑩10年間 (H2→H12) の世帯数増減率	-0.25未満	0	0.0%	5.0%
		-0.25以上 ～ -0.1未満	3	11.5%	19.0%
		-0.1以上 ～ 0.1未満	6	23.1%	59.2%
		0.1以上	17	65.4%	12.9%

※各指標における構成割合のグラフを表示する機能を備えています。

※右欄の「(参考) 全国過疎地域平均」の値は、平成 11 年度国土庁過疎対策室調査による過疎地域市町村の約 5 万集落の傾向を示しています。

(続き)

		指 標	分 類	地区数	構成割合	(参考) 全国過疎 地域平均
Ⅲ 地区特性	⑪集落等の整備状況	集会施設あり		18	69.2%	63.3%
		医療施設あり		1	3.8%	—
		観光施設あり		3	11.5%	—
		広場・公園あり		3	11.5%	—
		バス停あり		20	76.9%	—
	⑫施設等までの道のり	a.役場	3km未満	5	19.2%	30.5%
			3km以上～5km未満	5	19.2%	20.0%
			5km以上～10km未満	8	30.8%	29.8%
			10km以上	8	30.8%	18.9%
		b.小学校	3km未満	12	46.2%	—
			3km以上～5km未満	6	23.1%	—
			5km以上～10km未満	4	15.4%	—
			10km以上	4	15.4%	—
		c.医療施設	3km未満	9	34.6%	—
			3km以上～5km未満	3	11.5%	—
			5km以上～10km未満	4	15.4%	—
			10km以上	10	38.5%	—
		d.日常の 買い物	1km未満	1	3.8%	—
			1km以上～3km未満	8	30.8%	—
			3km以上～5km未満	8	30.8%	—
			5km以上	9	34.6%	—
		e.バス停	1km未満	9	34.6%	—
			1km以上～3km未満	8	30.8%	—
			3km以上～5km未満	6	23.1%	—
			5km以上	3	11.5%	—
Ⅳ 住民活動	⑬地域リーダーの有無	地域リーダーあり		21	80.8%	46.8%
		地域リーダーなし		5	19.2%	53.2%
	⑭地区(集落)機能の 維持状況	良好		14	53.8%	81.7%
		普通		6	23.1%	8.0%
		困難		6	23.1%	10.2%
	⑮祭りの有無	祭りあり		22	84.6%	—
		祭りなし		4	15.4%	—
	⑯住民活動の活発度	活発		3	11.5%	—
		普通		18	69.2%	—
		停滞		5	19.2%	—
Ⅴ 将来動向	⑰今後の人口動向	増加		0	0.0%	5.4%
		横ばい		2	7.7%	33.7%
		減少		24	92.3%	60.5%
	⑱消滅(無人化)の 可能性	今後10年以内に消滅の可能性あり		3	11.5%	0.9%
		今後10年以降に消滅の可能性あり		0	0.0%	3.5%
		消滅の可能性なし		23	88.5%	95.7%
	⑲地区事業の 実施状況	実施中		0	0.0%	—
		実施予定		2	7.7%	—
		検討中		2	7.7%	—
		実施済み		1	3.8%	—
		なし		21	80.8%	—

機能2 数値指標の基本統計量の分析 画面出力イメージ

	指 標	有効データ数	平均値	中央値	最大値	最小値	標準偏差
人口	人口	26	42.9	36	105	2	26.9
	0～14歳	26	3.2	1.5	17	0	4.3
	15～29歳	26	5.4	5	16	0	4.1
	30～64歳	26	16.6	15.5	45	0	10.2
	65歳以上	26	17.8	16	46	1	12.6
	若年者比率(15～29歳)	26	11.9%	12.1%	26.1%	0.0%	7.2%
	高齢者比率(65歳以上)	26	42.7%	38.3%	100.0%	11.5%	18.5%
	人口増減率 (H2→H12)	26	-0.036	-0.009	0.431	-0.429	0.219
世帯	世帯数	26	15.8	14	34	1	9.5
	高齢者世帯数	26	5.3	5	20	0	4.8
	高齢者世帯割合	26	32.8%	33.3%	100.0%	0.0%	20.3%
	世帯数増減率 (H2→H12)	26	0.162	0.180	0.833	-0.250	0.225
就業者	就業者数	26	23.9	21.5	62	1	14.4
	第1次産業	26	6.8	7	11	1	2.5
	第2次産業	26	7.6	6	22	0	5.7
	第3次産業	26	9.5	7.5	37	0	8.8
	第1次産業就業者割合	26	39.8%	33.2%	100.0%	8.1%	25.4%
	第2次産業就業者割合	26	27.7%	29.9%	47.1%	0.0%	12.2%
	第3次産業就業者割合	26	32.5%	33.3%	62.9%	0.0%	17.1%
面積	地区面積	26	435.1	416.5	758	85	166.7
	宅地	26	9.3	8	28	1	7.1
	農地	26	11.6	12	21	1	5.5
	山林	26	398.0	380.5	725	50	166.0
	宅地面積割合	26	4.0%	1.8%	32.9%	0.2%	7.2%
道のり	農地面積割合	26	2.8%	3.1%	5.5%	0.5%	1.2%
	山林面積割合	26	89.2%	91.3%	97.2%	58.8%	8.3%
	役場まで	26	6.6	6	15	0	4.5
	小学校まで	26	4.5	3	14	0	3.8
	医療施設まで	26	7.2	7	17	0	5.6
	日常の買い物	26	4.1	4	9	0	2.6
	バス停まで	26	1.8	2	5	0	1.8

機能3 地区別にみた順位付け 画面出力イメージ

◆順位付け							
No.	地区名 (集落名)	人口 (多い順)	世帯数 (多い順)	若年者数 (多い順)	高齢者比率 (低い順)	人口増減率 (高い順)	総合順位
		順位表示 順位が7	順位表示 順位が7	順位表示 順位が7	順位表示 順位が7	順位表示 順位が7	順位表示 順位が7
1	A地区	5	1	16	22	22	16
2	B地区	16	21	9	7	4	9
3	C地区	3	1	7	19	19	6
4	D地区	1	4	1	10	10	2
5	E地区	19	19	20	1	2	14
6	F地区	4	3	16	25	18	16
7	G地区	6	9	5	12	9	4
8	H地区	11	13	5	14	15	11
9	I地区	7	7	10	6	5	3
10	J地区	2	5	2	8	1	1
11	K地区	17	21	7	2	12	12
12	L地区	13	15	10	15	12	15
13	M地区	10	17	3	18	7	8
14	N地区	14	11	10	11	21	18
15	O地区	24	23	22	22	16	25
16	P地区	15	13	22	21	11	20
17	Q地区	25	25	25	3	26	24
18	R地区	19	23	19	4	2	18
19	S地区	26	26	25	26	23	26
20	T地区	12	6	10	9	17	7
21	U地区	23	15	16	16	25	21
22	V地区	18	17	20	20	24	23
23	W地区	8	10	3	13	8	5
24	X地区	19	20	10	4	6	12
25	Y地区	19	11	22	24	20	22
26	Z地区	9	7	10	17	14	9
27	-						
28	-						
29	-						
30	-						

機能4 地区別にみた状況判定 画面出力イメージ

◆状況判定							
No.	地区名 (集落等)	人口	世帯数	若年者数	高齢者比率	人口増減率	総合判定
		判定表示 判定列1	判定表示 判定列2	判定表示 判定列3	判定表示 判定列4	判定表示 判定列5	判定表示 判定列6
1	A地区	3	3	1	2	2	C
2	B地区	2	1	1	4	5	C
3	C地区	3	3	1	3	2	C
4	D地区	4	3	2	4	4	B
5	E地区	2	2	1	5	5	B
6	F地区	3	3	1	2	2	C
7	G地区	3	2	1	4	4	C
8	H地区	2	2	1	4	3	C
9	I地区	3	2	1	4	5	B
10	J地区	4	3	2	4	5	B
11	K地区	2	1	1	5	4	C
12	L地区	2	2	1	3	4	C
13	M地区	2	2	2	3	4	C
14	N地区	2	2	1	4	2	C
15	O地区	1	1	1	2	3	D
16	P地区	2	2	1	3	4	C
17	Q地区	1	1	1	4	1	D
18	R地区	2	1	1	4	5	C
19	S地区	1	1	1	1	1	D
20	T地区	2	2	1	4	3	C
21	U地区	1	2	1	3	1	D
22	V地区	2	2	1	3	1	D
23	W地区	3	2	2	4	4	B
24	X地区	2	2	1	4	4	C
25	Y地区	2	2	1	2	2	D
26	Z地区	3	2	1	3	3	C
27	-						
28	-						
29	-						
30	-						
31	-						
32	-						
33	-						
34	-						
35	-						
36	-						
37	-						
38	-						
39	-						
40	-						

状況判定分析における
各区分による得点

人口
1: ~ 24人
2: 25 ~ 49人
3: 50 ~ 99人
4: 100 ~ 199人
5: 200人 以上

世帯数
1: ~ 9世帯
2: 10 ~ 24世帯
3: 25 ~ 49世帯
4: 50 ~ 99世帯
5: 100世帯 以上

若年者数
1: ~ 9人
2: 10 ~ 19人
3: 20 ~ 29人
4: 30 ~ 49人
5: 50人 以上

高齢者比率
1: 70%以上
2: 60%以上 ~ 70%未満
3: 40%以上 ~ 60%未満
4: 20%以上 ~ 40%未満
5: 20%未満

人口増減率
1: -0.25未満
2: -0.25以上 ~ -0.1未満
3: -0.1以上 ~ 0未満
4: 0以上 ~ 0.1未満
5: 0.1以上

総合判定 (合計得点)
A: 20点以上
B: 15~19点
C: 10~14点
D: ~9点

ステップ2 地区力点検の実施に向けた準備をしよう

ステップ2では、地区力点検の実施に向けた準備を行います。ステップ1の結果を踏まえ、地区力点検を実施する地区、点検の目標及びその結果の活用方法等を検討し、市町村及び地区における実施体制を整えるとともに、作業に使用する点検ツールを作成・用意します。

2-1 地区力点検の対象と目的を決定しよう

地区力点検をはじめるにあたって、ステップ1の地区情報整理テーブルによる地区状況の分析結果等を踏まえながら、どの地区を対象に、どのような目的で実施するのかを明らかにする必要があります。

今日の過疎地域等における集落等の状況をみると、大きく分けて、以下の4タイプの実施目的が考えられます。各市町村においては、これらをベースとして、より具体的な実施目的を検討し、決定してください。

<地区力点検の実施目的のタイプ>

i 目標開拓型

住民に活力があり、住民主体の活動も良好に行われている地区において、新しい目標を開拓し、地区活動のさらなる活発化を図るために実施するタイプです。

ii 課題解決型

住民において、地域の問題や課題がある程度認識されており、住民に「何とかしなければ」「何か取組をはじめたい」という意識が芽生えている地区において、課題の解決に向けて具体的な活動を起こすきっかけづくりのために実施するタイプです。

iii 問題発見型

過疎化や高齢化などにより、生活条件が厳しく、住民の活力が低迷している地区において、現状を見つめなおし、正しく問題を認識することによって、住民に「このままではいけない」「何とかしなければ」という意識・意欲を持ってもらうために実施するタイプです。

iv 施策実現型

地区を対象とした特定の施策に関する検討を行うために実施するタイプです。例えば、地区どうしの機能的な連携や集落再編成などを見据えて、地区の範囲を越えた広域的な取組の可能性やその方法等を見出すケース、住民参加によって具体的な施設整備を検討するケース等が考えられます。

2-2 地区への動機づけと活用プランを検討しよう

地区力点検に際して、住民に主体的に参加・関与してもらうためには、地区住民に対する動機づけ、つまり参加意欲を持ってもらうことが極めて重要となります。そのためには、地区住民にとって、地区力点検をやることにどのような意味があるのか、それをやることによってどうなるのかといったことを、なるべく具体的に伝える必要があります。

したがって、市町村においては、地区力点検の成果をどのように展開していきたいかをあらかじめ考え、地区住民にとっても魅力のある活用プランを検討しておくことが大切です。

<動機づけ・活用プランの例>

i 目標開拓型

新しい目標に向けた地区活動を支援するための各種施策

- (例)
- ・活動費用の補助
 - ・活動に必要なハード整備
 - ・公共施設の開放、物品の貸与
 - ・地区リーダーの養成、研修参加
 - ・専門家、アドバイザーの派遣
 - ・広報等による PR、他市町村に向けた情報発信 など

ii 課題解決型

地区住民による課題解決に向けた活動・行動を促す支援施策

- (例)
- ・会議や集会費用、活動費用の補助
 - ・活動のきっかけとなるハード整備
 - ・先進的な事例への視察派遣
 - ・参考となる情報提供 など

iii 問題発見型

地区住民による問題認識と意識・意欲の向上を支援する各種施策

- (例)
- ・活動費用の補助
 - ・生活基盤、生活環境の整備
 - ・相互扶助体制のソフト的支援
 - ・日常生活を支える公的サービスの充実 など

iv 施策実現型

特定の施策の実施・推進に向けた地区住民への各種施策

- (例)
- ・話し合いのための費用の補助
 - ・説明会、交流会の設定
 - ・地区住民が企画した具体のハード整備
 - ・地区住民が企画したソフト事業への支援
 - ・集落再編成後の地域の活動費用の支援、あるいは必要となるハードの整備 など

2-3 地区に実施を呼びかけよう

各地の先進的な取組事例をみると、地区力点検は、ある程度住民としてのまとまりがあり、市町村と比較的良好な関係ができていいる地区では、実施が比較的容易であるようです。よって、地区住民の普段からのまとまりがよく、地区に対する関心や意欲の高い地区に対して先行的に地区力点検を実施し、その成果を広く示していくことによって、他の地区からも実施したいという声が上がってくることを期待されます。

地区に実施を呼びかける方法として、地区力点検には住民の取りまとめ役の存在がとても重要であることから、そのような役割を担う地区のリーダーや代表者等に話を持ちかける方法が効果的と考えられます。その際には、地区力点検の意味や具体的内容のほか、前項2-2及び2-3で検討・決定した実施目的や点検結果の活用プランなどをわかりやすく説明し、地区住民にとっての意味や効果を伝えるとともに、リーダー等を通じて住民に参加を働きかけてもらうなどのやり方が望まれます。

地区力点検では地区住民が主体的に点検作業を行っていくことが重要であるため、市町村からの呼びかけに対して賛同した地区について実施していくことになります。

<地区住民アンケートの活用>

地区力点検に関する地区住民の全体的な関心や参加意向等を把握したい場合は、アンケートが有効です。地区力点検ツールとして提供している「地区住民アンケート票」には、このような場合に利用するサンプル（⇒下図参照）が含まれています。これをもとに依頼状や設問項目を検討・更新し、地区住民を対象にアンケート調査を実施してください（⇒P31参照）。そしてアンケートの集計結果から、住民の関心や参加の意向等を把握し、住民の主体的な参加による地区力点検が実施できそうかどうかを判断してください。

地区力点検に関する地区住民アンケート票	
市町村	地区名
◆あなたの性別をお答えください。 1 男性 2 女性	
◆あなたの年齢をお答えください。 1 14歳以下 2 15歳～29歳 3 30歳～64歳 4 65歳以上	
問1 この地区の将来について不安を感じていますか。（1つに○） 1 感じている 2 感じている 3 どちらともいえない 4 その他（ ）	
問2 地区の現在の状況をみて、今のままではいけないと思いますか。（1つに○） 1 思う 2 思わない 3 どちらともいえない 4 その他（ ）	
問3 地区の現在の状況や将来について、困りから思っていること、思っていることはありますか。（1つに○） 1 ある 2 ない 3 どちらともいえない 4 その他（ ）	

問4 地区の将来について、みんなで考えたほうが良いと思いますか。（1つに○） 1 思う 2 思わない 3 どちらともいえない 4 その他（ ）				
問5 地区の住民が住み、現在の地区のようすを点検・確認し、これからのことをみんなで考えていく取組（地区力点検）について、関心がありますか。（1つに○） 1 関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 どちらともいえない 5 その他（ ）				
問6 上記の取組を行う場合の参加について、どのようにお考えですか。（1つに○） 1 参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 参加できない（時間がとれないなど） 5 どちらともいえない 6 その他（ ）				
問7 上の問で「参加したい」「参加してもよい」と答えた人に聞きます。参加するとしたらいつがよいですか。都合のいい曜日と時間を教えてください。 <table border="1"> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> </table> （記入例：平日の夕方、土曜日の午前～午後、いつでも可能 など）				
～ご協力ありがとうございました～				

2-4 実施体制を整えよう

市町村及び地区住民のそれぞれにおいて、地区力点検に携わる人の体制を整えます。地区力点検は、地区住民が主体的に作業を行っていくことが望まれますが、そのためには市町村による準備や支援等が不可欠になります。特に地区力点検における話し合いのコーディネーター役は極めて重要であり、地区と協議の上、地区のリーダーがやるのか、市町村担当者がやるのか、それとも外部協力者（地域づくりアドバイザー、民間コンサルティングなど）に依頼するのかなどを決めてください。

参加する地区住民の男女構成、年齢構成については、多様な視点から地域を見つめたり考えたりするため、女性や若者等が多く含まれるように配慮するとともに、自由な話し合いができる雰囲気づくりに努めてください。

<地区力点検における役割>

地区力点検において必要と考えられる役割をあげると、以下のとおりです。このほかにも必要な役割が出てくるものと考えられますが、点検作業の中で適宜決めてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1) コーディネーター（進行役）： | 地区のリーダー、市町村担当者、外部協力者 |
| 2) 点検作業への助言 | ： 市町村担当者、外部協力者 |
| 3) 点検シート等への記録 | ： 地区住民 |
| 4) 点検結果のとりまとめ | ： 市町村担当者、地区住民 |
| 5) 開催等の連絡 | ： 地区のリーダー、市町村担当者 |
| 6) 会場の手配・設定 | ： 市町村担当者 |
| 7) 地区力点検ツールの準備 | ： 市町村担当者 |

<外部協力者について>

地区力点検におけるコーディネーター役には、住民どうしの話し合いを円滑に進め、的確に点検結果を引き出していくための能力が求められます。市町村において、そのような能力やノウハウをもった外部の人材・グループとつながりのある場合は、コーディネーターとして外部協力者の活用を検討することが期待されます。

また、地域によっては、市町村担当者と住民だけになると、行政に対する不満や要望等が出やすくなる、あるいは、お互いが顔見知りであり事情もよくわかっているため、なかなか新しい視点が出てこないといった指摘も聞かれます。外部協力者の活用はこのような場合にも有効と考えられます。

なお、国土交通省、財団法人地域活性化センター、財団法人都市農山漁村交流活性化機構等では、次頁に示すように、このような状況に対応できるアドバイザー派遣制度を設けていますので、各市町村の必要性に応じて活用してください。

このほか、各都道府県が実施している事業などもあります。詳しくはそれぞれの都道府県にお尋ねください。

地域振興アドバイザー制度 (国土交通省都市・地域整備局地方整備課)

1. 目的

地域の活性化・交流を促進するために、様々な課題を抱えている市町村へ各分野の専門家を派遣して、その専門家から助言をしてもらうことにより、自主的な地域づくり活動等を側面から支援し、もって地域の活性化に資することを目的とする。

2. 派遣対象市町村

- (ア) 一から地域づくりを行うため、その推進体制を整備しようとする市町村
- (イ) 長年地域づくりに取り組んで壁にぶつかっている市町村
- (ウ) 一定の成果をおさめて更に高次の地域づくりに取り組んでいこうとしている市町村
- (エ) 地方拠点都市地域
- (オ) 中心市街地の活性化を課題としている市町村
- (カ) 山村第3セクターの経営等を課題としている市町村

3. 派遣要領

I 派遣地区 30 地区程度 (うち山村 3 セク 10 箇所程度)

II 派遣アドバイザー 1 地区当たり原則 3 人以内

- (ア) 相当程度の規模を有する地方中心都市等については、4～5 名程度からなるアドバイザーを派遣し、複合的・総合的な助言を行う。
- (イ) 地域づくりの基本的な方向・推進体制の整備等、地域づくりの基本的事項に関するアドバイスを希望する市町村については、まず 1 名を派遣し、その状況次第でその後の派遣を検討するものとする。
- (ウ) 派遣回数 1 地区当たり原則 3 回以内
- (エ) 費用負担
旅費 (交通費、宿泊費) : 国土交通省負担
謝金 : 第 1 回についてのみ国土交通省負担

地域づくりアドバイザー事業 (財団法人地域活性化センター)

1. 趣旨

各市町村等が行う自主的主体的な地域づくりに対する支援の一環として、地域の活性化を推進するため適切な助言を行う各分野の専門家等 (「地域づくりアドバイザー」) の紹介を行い、その受入れにつき、財団法人全国市町村振興協会の協力を得て、当該経費の助成を行う。

2. 支援方法

(ア) アドバイザーの紹介

市町村等の掲げるテーマや要望等に応じアドバイザー候補者を選定し、これに関する情報を提供する。

(イ) 経費の助成

アドバイザーの受入れのために市町村等が支出した経費のうち以下のものを助成する。

謝金 : アドバイザー 1 人 1 回につき 10 万円まで、合計 20 万円までとする。

交通費 : 実費分 (日当及びグリーン料金等は助成対象に含まれない。)

宿泊費 : 実費分

(※平成 14 年度の事業要綱より抜粋)

知恵を生かす地域づくり・人づくり支援事業 (財団法人都市農山漁村交流活性化機構)

1. 趣旨・内容

農村では、少子・高齢化、過疎化、後継者不足等の様々な課題が都市以上にかつ急速に顕在化しており、農林水産業の活性化、農村振興を図るためには、地域住民はもとより多様な主体の参画により様々な知恵の結集が必要である。

このため農村の振興に意欲的な学生及び社会人等が、一定期間農山漁村に滞在し、行政や地域の人々と一緒になって地域振興施策の企画・立案や地域づくり活動に直接的に参加し、地域づくり応援団として活動する取組を支援するものである。

2. 事業内容

農林水産業、農村振興にバックグラウンドや意欲を有する学生及び社会人等が、地域づくり応援団として農村振興に寄与する機会を創設することにより、彼らの農山漁村に対する知見を深め、その振興の必要性に対する理解が醸成される。一方、農山漁村地域にとっては、農村振興に不可欠な新たな知恵やアイデアが持ち込まれるとともに、UJIターン者や地域応援団を獲得する契機となる。

このようなことから、学生及び社会人等が農村振興に寄与できる機会を市町村等が創設するに当たっての必要な支援措置を講ずる。

<具体的な事業内容>

- (ア) 民間団体：本事業に係る企画・立案、研修・体験実施計画等の各種資料作成、募集パンフレット等の作成、説明会・研修会の開催、派遣者体験報告書の整理等の事務を行う。
- (イ) 市町村等：派遣者の受け入れ計画の作成及び派遣者に対する支援を行う。
- (ウ) 派遣者数：200人
- (エ) 受け入れ市町村数：50市町村
- (オ) 派遣期間：2週間

3. 事業実施主体等

- | | | |
|------------|---------|---------|
| (ア) 事業実施主体 | 1) 民間団体 | 2) 市町村等 |
| (イ) 補助率 | 1) 定額 | 2) 1/2 |

2-5 地区力点検ツールを準備しよう

実際に地区力点検で使用する「地区力点検ツール」として、表-4に示すとおり、地区力点検チェックリスト、地区力点検シート、地区力点検マップ、地区住民アンケート票を準備します。これらのツールは本書が掲載されているCD-ROMのなかで、Wordファイル及びPDFファイルの形式で提供されています(⇒P3参照、ただし地区力点検マップは除く)。PDFファイルは内容の書きかえができないので、地域の状況にあわせてツールを変更したい場合はWordファイルを利用してください。

表-4 地区力点検ツールの準備のポイント

地区力点検ツール	準備のポイント
1 地区力点検チェックリスト	対象地区の状況や地区力点検の実施目的、点検結果の活用プラン等を踏まえて、点検項目を選択、追加、変更していきます。⇒P28参照 また、地区力点検シートのなかで、地区の男女別年齢別人口、世帯人員別世帯数、高齢者世帯数など、市町村が持っているデータの範囲内でわかる項目については、市町村において事前に記入しておきます。
2 地区力点検シート	上記の地区力点検チェックリストの設問項目にあわせて、地区力点検シートを準備します。チェックリストを変更した場合は、チェックリストの設問番号と、点検シートの番号を対応させてください。
3 地区力点検マップ	市町村が保有している既存の地図(白地図)を活用します。対象地区及びその周辺の様子がはっきりと描かれている大きめの地図を用意してください。また、屋外に出て各人がそれぞれ点検する場合は、小さめの地図(A4サイズ程度、縮小コピー可)を用意するとよいでしょう。
4 地区住民アンケート票	活用したいケースに応じて、アンケート票のサンプルを選択し(⇒8頁参照)、把握したい情報ニーズに応じて設問を検討・修正・追加します。また、1枚目の依頼状のところには、調査の趣旨、記入方法、提出方法、問合せ先などをそれぞれの状況にあわせて記入してください。

<実施目的に応じた点検項目検討の視点>

CD-ROMで提供している地区力点検チェックリスト及び地区力点検シートでは、地区力の7要素について、基本的な点検項目を網羅的にそろえています。これをベースとして、対象地区の状況や地区力点検の実施目的、点検結果の活用プラン等を踏まえた上で、点検する項目を検討し、選択、追加、変更していきます。その場合の検討の視点としては、一例として以下のようにまとめられます。

i 目標開拓型

住民に活力があり、住民主体の活動も良好に行われている地区において、新しい目標を開拓し、地区活動のさらなる活発化を図る場合
検討の視点（例）

「地区力のつながり」のなかで、現在の地区活動を振り返るとともに、「地区力の資源」（資源・魅力）及び「地区力の自立性」（地区ならではの産業）等を重点的に点検し、新しい活動の可能性を見出す。

ii 課題解決型

住民において、地域の問題や課題がある程度認識されており、意欲もそれなりにある地区において、課題の解決に向けた活動を起こすきっかけづくりを図る場合

検討の視点（例）

「地区力の源」「地区力の勢い」「地区力の将来性」のなかで、地区の現状と取組の必要性を再認識し、活動意欲を高めるとともに、「地区力のつながり」（地区の作業・活動状況）及び「地区力の資源」（資源・魅力）等を重点的に点検し、新しい活動の手がかりを見出す。

iii 問題発見型

生活条件が厳しく住民の活力が低迷している地区において、住民に「このままではいけない」「何とかしなければ」という意識・意欲を持ってもらう場合

検討の視点（例）

各要素から、現状及び将来の厳しさを明らかにし、「地区力のつながり」（地区の作業・活動の困難さ）等を手がかりに、住民主体の取組の必要性につなげたり、「地区力の基盤」等の点検を通して、生活する上での住民ニーズから活動意欲を引き出す。

iv 施策実現型

地区を対象とした特定の施策に関する検討を行う場合

検討の視点（例）

例えば、地区どうしの機能連携・統合などの場合は、「地区力のつながり」のなかで、地区内の作業・活動の困難さ、地区外との協力・連携状況を重点的に点検する。具体的なハード整備等の場合は、「地区力の基盤」等をベースに、検討する施策内容に特化した点検項目に変更し、直接的なニーズを引き出す。

2-6 日程・スケジュールを決定しよう

地区のリーダー等と協議の上、地区力点検をいつどこでどのように実施するかを決めます。参加の意向等を把握するための地区住民アンケートを実施している場合は（⇒P23 参照）、その結果も参考にできます。

<実施回数>

地区力点検の作業は、1 回きりで終わりにするのではなく、継続して取り組んでいくことが重要です。

実際に、提供している地区力点検チェックリストの点検項目は、かなりの作業時間を要するものであり、1 回の会合・集まりですべてを点検することは困難です。地区のリーダー等と協議しながら、何回実施するか、いつ頃実施するかをある程度決め、毎回の点検作業の状況をみながら、次回の予定を一つずつ決めていくやり方がいいのではないのでしょうか。

<曜日・時間帯>

男女、年齢層の構成に配慮しながら、なるべく多くの地区住民が無理なく集まれる曜日、時間帯を設定してください。

<1 回当たりの時間>

市町村において、1 回当たりの作業目標を定め、準備した点検ツールをもとに試験的に実施し、どのくらいの時間がかかるかをある程度把握した上で、1 回あたりの時間を定めます。コーディネート役などを外部協力者に依頼している場合は、別途協議を行ってください。

<実施場所>

地域の公民館、集会所、小中学校、交流施設、市役所・役場 など

ステップ3 地区力点検を実施しよう

ステップ3では、ワークショップ等を開催し、市町村及び地区住民が協力しながら、各種点検ツールを用いて地区力点検の具体的作業を行います。

3-1 ワークショップ等を開催しよう

例えばワークショップの形式（地区住民及び市町村による共同作業形式）で、地区住民に集ってもらい、地区力点検の作業を行います。（※ワークショップに関しては、文献が多数出版されていますので、必要に応じて参考にしてください。）

<ワークショップ等の進行（例）>

- 1) 趣旨説明（2回目以降は前回の点検作業の報告）
- 2) 班編成（参加人数が多い場合）
- 3) 作業手順の説明
- 4) 点検作業
- 5) 結果の総括
- 6) 次回の予定

3-2 チェックリストに沿って点検作業をしよう

ワークショップ等のなかで、準備した地区力点検チェックリストにしたがって点検作業を行い、その結果を地区力点検シートあるいは地区力点検マップに記入していきます。コーディネーターあるいは市町村担当者は、住民が作業に行き詰まったり、悩んだときに助言・補助してください。

各地の先進的な取組事例をみると、住民に主体的かつ意欲的に取り組んでもらい、点検活動を継続させていくためには、「点検作業そのものが楽しい」ということがとても重要であることがわかります。よって、市町村、地区のリーダー、コーディネーター等においては、作業が楽しくなるための十分な配慮が求められます。

<楽しく点検作業を行うための主な配慮事項>

- 実施目的と意義を正しくわかりやすく伝え、理解してもらう
- 他人の意見の批判や個人攻撃はしない（意見に対する質問はいい）
- 強制・強要はしない
- 行政への批判や要望に片寄らないようにする
- 地区住民どうしの交流も大切にする
- だらだらと長時間かけてやらず、適度に時間を区切って行う など

3-3 地区住民アンケート票で点検作業をしよう

地区の規模（人口・世帯数）が大きかったり、点検内容が世帯の個別状況に関する項目の場合等については、住民が集まって共同で確認・把握するよりも、アンケートで個別に調査・把握したほうが効率的です。このような場合のために、地区力点検では、4つのケースを想定して、アンケート票のサンプルを提供していますので（⇒P8 参照）、これらを活用して点検作業を行ってください。

アンケートの実施方法としては、以下のようにいくつか考えられます。

<アンケートの実施場面>

- 1) 3-1のワークショップのなかで実施する
- 2) 通常の地区の会合、集会等のなかで実施する
- 3) 各世帯・住民で個別に実施する（以下参照）

<世帯・住民個別のアンケート実施方法>

各世帯・住民で個別にアンケートを実施する場合、表-5のような方法があります。

表-5 アンケートの実施方法

調 査 方 法	内 容
1 郵送法による発送・回収	調査票を各戸へ直接郵送します。回収も返信用封筒等で郵送にて回収します。
2 調査員による配布・郵送回収	調査員が各戸へ調査票を配布・依頼します。回収は返信用封筒等で郵送にて回収します。
3 郵送留め置き法	調査票を各戸へ郵送します。回収は日時を指定して調査員が回収します。
4 留め置き法	調査員が各戸へ調査票を配布・依頼します。回収は日時を指定して調査員が回収します。
5 個別面接聴取法	調査員が調査票を持参して各戸を訪問します。その場で直接聴き取り、調査票に記入・点検し、回収します。
6 その他	通常の地区の会合、集会等の際に配布し、次回集まるときに持参してもらいます。

※上記の調査員については、地区のリーダー、市町村担当者、民間業者など、適宜定めてください。

ステップ4 点検作業の結果を整理しよう

ステップ4では、ステップ3で実施した地区力点検作業の結果（地区力点検シート、地区力点検マップ、地区住民アンケート票）をとりまとめます。

4-1 各種ツールの結果を整理しよう

ステップ3で使用した地区力点検ツールの結果を整理します。地区力点検シート及び地区力点検マップについては、地区住民が自分たちでまとめることが望ましいのですが、それが難しい場合は市町村等でまとめてください。地区住民アンケート票については、住民個別の意向や意見等が記載されているため、基本的には市町村等で集計するのが望ましいと考えていますが、住民との合意・了解の上、地区で集計・整理できるところは、地区が市町村等と協力しながら行ってください。

なお、住民による主体的な点検活動を継続して行うためには、毎回のワークショップ等の成果を目に見える形で参加者に示し、意欲を高めていくことが重要です。したがって、すべての点検項目が終了した後の結果整理のほか、毎回の点検作業の結果もある程度とりまとめ、住民に報告していくことが期待されます。

<地区力点検シートの整理方法>

- 1) 基本的には記入された地区力点検シート（手書き）をもとに、同シートをもう1部用意し、これに清書します（Wordファイルを利用し、パソコンで入出力しても可）。
- 2) 特に大切と考えられるところにはマーカー等で印をつけてください。

<地区力点検マップの整理方法>

- 1) 基本的には記入された地区力点検マップ（手書き）をもとに、同様のマップをもう1部用意し、重なっている内容を取りまとめ、不要な記述等を省きながら、これに清書します。既にきれいにまとまっている場合はそのまま結構です。
- 2) 特に大切なところにはわかるように印をつけてください。
- 3) 地区力点検シートの記入内容のなかで、地図上で示せるものは追加記述してください。

<地区住民アンケート票の整理方法>

- 1) 設問ごとに、選択肢別の回答数を集計します。
- 2) 設問ごとに、上記の選択肢別回答数の構成割合を計算します。
- 3) 地区の住民意識等の傾向（どのような意向の世帯が何割くらいいるか、など）を整理し、プリントアウトします。

4-2 地区力創造シートを準備しよう

地区力の創造等をテーマとした次のワークショップの開催に向けて、地区力点検ツールの一つである地区力創造シートを準備します（本書が掲載されている CD-ROM のなかで、Word ファイル及び PDF ファイルの形式で提供）。地区力点検シートの結果から、下図を参考に地区力創造シートの 1 ページ目（人数、世帯数、割合）を記入してください。

地区力創造シート					
市町村名		地区名		平成 年 月 日 実施	
参考資料 ■ 実施済みの地区力点検シート（再整理したもの） ■ 地区住民アンケート調査の集計結果（アンケートを実施した場合のみ） ■ 地区情報整理テーブルで、当該地区の情報を出力したもの					
＜地区の概況＞					
	10 年前	現 在	10 年 後		
			単純推計	住民の予想	住民の希望
人口（人）	1-1	1-1	計算	7-1	7-1
0～14 歳	1-1 (%)	1-1 (%)	計算	—	—
15～29 歳	1-1 (%)	1-1 (%)	計算	7-2	7-2
30～64 歳	1-1 (%)	1-1 (%)	計算	—	—
65 歳以上	1-1 (%)	1-1 (%)	計算	7-3	7-3
世帯数（世帯）	1-2	1-2	計算	7-4	7-4
高齢者世帯	1-3 (%)	1-3 (%)	計算	7-5	7-5
後継者のいる世帯	1-4 (%)	1-4 (%)	計算	—	—
※上記の人数・世帯数は、実施済みの地区力点検シートをもとに、あらかじめ記入してください。 ※単純推計は、10 年前から現在までの変化率をそのまま現在の値にかけて計算してください。 ※(%)には、地区全体の人口または世帯数に対する構成割合を記入してください。					
本地区（全世帯）	1-8 世帯 1-10 世帯 1-6 世帯 1-7 世帯 （複数該当あり）	よく訪れる（計 1-9 人） 時々訪れる（計 1-11 人）	家 族 あとつぎ 子どもや兄弟		他の地区（他市町村等） 他（同じ市町村）
※ 将来戻ってきそうな家族： 7-6 人くらい、 将来戻ってほしい家族： 7-7 人くらい					

※上記の赤い囲み番号は、地区力点検チェックリスト・地区力点検シートと対応しています。

ステップ5 点検結果から地区の将来等を考えよう

ステップ5では、これまでの点検作業の結果を踏まえ、市町村及び地区住民が協力しながら、地区力創造シートを利用して地区の将来等について話し合います。

5-1 ワークショップ等を開催しよう

以下のものを用意し、3-1と同様に進めてください。

<用意するもの>

- 1) 地区力創造シート
- 2) 4-1で整理した地区力点検シートの結果
- 3) 地区住民アンケート調査の集計結果（アンケートを実施した場合のみ）
- 4) 地区情報整理テーブルの「地区情報の出力機能」を利用して、対象地区の情報・データを出力したもの（下図参照）

<地区情報整理テーブルによる地区情報出力イメージ>

市町村名	〇〇村	地区名	A地区
I. 基本属性			
地区地名	xx区		
地区類型	山村		
地区区分	山間地		
地理的座標	東経ではない		
II. 人口・世帯・就業者数			
項目	データ	割合	備考
人口	60 人	—	年 月現在
0～14歳	5 人	8.3%	
15～24歳	4 人	6.7%	若年者数及び若年者比率
25～64歳	18 人	30.0%	
65歳以上	25 人	41.7%	高齢者数及び高齢者比率
世帯数	24 世帯	—	年 月現在
高齢者世帯	15 世帯	44.1%	
就業者数	20 人	—	
第1次産業	8 人	26.7%	
第2次産業	10 人	33.3%	
第3次産業	12 人	40.0%	
人口増減率	-0.250	—	平成2年から平成12年までの10年間
世帯数増減率	0.214	—	平成2年から平成12年までの10年間
人口及び世帯数の推移			
地区力点検について			

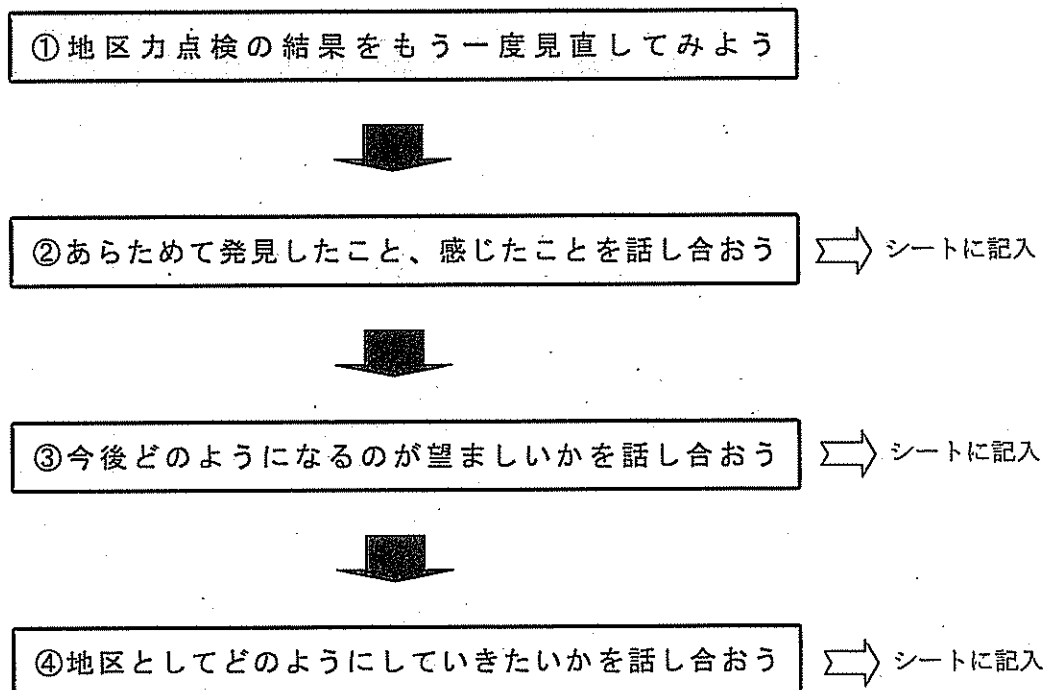
市町村名	〇〇村	地区名	G地区
III. 施設特性			
項目	データ	割合	備考
地区面積	388 ha	—	注:面積の単位は逆算係数のこと
宅地	5 ha	2.1%	
農地	12 ha	3.1%	
山林	359 ha	92.3%	
施設等整備の有無	—	—	
集会所	—	—	集会所、公民館など
医療施設	—	—	病院、診療、診療所など
観光施設	—	—	
広場・公園	—	—	
バス停	0	—	
施設等までの道のり	—	—	
市役所・役場	1 km	—	
小学校	1 km	—	
医療施設	1 km	—	
日常の買い物	1 km	—	
バス停	1 km	—	
IV. 住民活動			
項目	データ	備考	
地域リーダーの有無	○		
地区住民の継続状況	良好		
新入りの有無	○		
住民活動の活性化	良好		
V. 将来志向			
項目	データ	備考	
10年後の推計人口	61 人	現在の人口に(H12→H12)の人口増減率を乗じて算出	
10年後の推計世帯	21 世帯	現在の世帯数に(H12→H12)の世帯増減率を乗じて算出	
今後の人口増減	減少		
削減の可能性	可能性なし		
地区事業状況	実施予定		

5-2 地区力創造シートで点検作業をしよう

地区力点検の結果や地区のデータ等を見直しながら、地区力創造シートにしたがって住民どうし（あるいは市町村もまじえて）話し合いを行い、点検作業を進めていきます。この作業は、ステップ3の点検作業と比べると、コーディネーターや市町村担当者等による的確な助言、補助がより一層求められます。新しい発想や行動意欲、活動の手がかりなどが導かれるように検討の視点を投げかけてください。

また、この点検作業におけるポイントは、行政に対する要求や要望を聞き出すことではなく、まず地区としてどのようにしていきたいかという地区の主体性を引き出すことにあります。それを踏まえたうえで、地区住民の意思・意欲を前提とした施策ニーズを探っていくような話の展開が望まれます。

地区力創造シートによる点検作業は、地区力点検の7要素ごとに、次のようなプロセスで進行します。ただし「地区力の将来性」については、他の6要素すべてに関わることであるため、これらに含めて一緒に点検・見直しを行います。なお、すべての要素について点検作業を行うことが困難な場合は、話が進みそうな要素について重点的に進めてください。



ステップ6 地区力点検の成果を活かそう

ステップ6では、地区力点検の成果を総合的に把握し、これからの地域づくりに活用するための検討を行います。

6-1 地区力創造シートの結果を整理しよう

地区力創造シートの結果を整理します。記入された地区力創造シートについて、地区力点検の要素ごとに住民が話し合った内容や意見を再度見直し、地区力の強化に関連した内容や地区住民の具体的な活動につながりそうな内容等を中心に要点をとりまとめます。

各地の先進的な取組事例をみると、地区力点検をきっかけとして新たな地区活動等をはじめのような場合、ワークショップ等に参加していない住民に対しても成果をきちんと報告しておくことが重要であることがわかります。地区力点検の成果をなるべく広く報告・公表することにより、地区内における住民意識を高めるとともに、他地区での地区力点検の動きにもつながっていくことが期待されます。

提供している地区住民アンケート票のなかには、地区力点検のワークショップや会議等に参加できなかった住民に対して、地区力点検の結果（完成させた地区力点検シートや地区力創造シートなど）を報告・回覧し、それに関する意見等を収集するためのアンケート票（ケース4）を用意していますので、併せて活用を検討してください。

6-2 地区力強化に向けた方向性を検討しよう

地区力創造シートの結果等をもとに、2-1で検討した実施目的及び2-2で検討した動機づけ・活用プラン等を踏まえながら、地区力点検の成果の活用方策、地区力の強化に向けた施策の方向性、地区力点検を実施した地区へのフォローアップ等について検討します。

この地区力点検を一つの契機として、さらなる話し合いの必要性が生まれた場合は、より具体的なテーマを設定して、新たな点検ツールを設計・作成し、ワークショップ等の話し合いの場を設けて、活動を継続・発展させていくことが望まれます。

<地区力点検の成果の活用方策（例）>

- 地区整備構想・計画等の策定へのステップアップ
- 地区力点検をキーワードとした連携・交流推進（活動発表・意見交換の場づくり）
- 点検成果の報告・情報発信による他地区への地区力点検の普及
- 住民主体の地区・地域経営に関する取組促進
- 地区（集落、行政区等）の再編成に向けた具体的検討 など

<地区力の強化に向けた施策の方向性（例）>

- 地区主体の自主的・自発的な取組に対する活動費用の補助
- 地区住民の主体的な意識と行動を促すためのハード整備
- 地区の基礎条件整備による住民活動環境の改善
- 相互扶助体制、生活支援サービス等の充実による意欲の創出 など

<地区力点検を実施した地区へのフォローアップ（例）>

- 継続的な点検活動に対する費用補助
- 専門家、アドバイザー等の派遣
- 地区力点検の活動報告書の作成
- 広報等での取組紹介、情報発信 など

6-3 地区力点検の成果を総括し情報を蓄積しよう

地区力点検で得られた成果を総括し、今後市町村として取組を推進するための知見を得るとともに、地区力点検を通して集められた情報を記録・蓄積します。地区情報整理テーブルのなかに、地区力点検の結果を要素別に書き込む自由記入欄を設けていますので、これらを活用しながら、市町村において必要なときに情報が取り出せるように整備しておきましょう。

<地区力点検の成果を総括する視点（例）>

- 1) 地区力点検を通じて、住民にどのような変化がみられましたか
- 2) 住民の現状に対する認識は深まりましたか
- 3) 住民の地区に対する関心は高まりましたか
- 4) 住民どうしあるいは市町村と住民とのつながりは強くなりましたか
- 5) 明らかになった課題は何ですか
- 6) 地区としてやってみたいことが出てきましたか
- 7) それに対して、市町村としてどのような手助けができそうですか

※地区情報整理テーブルにある地区力点検結果の書き込み画面（ワークシート）は、使いやすいうように書式、スタイル等を自由に変更して利用してください。

地区力点検に関するご意見、ご感想を下記までお寄せください。
また、実際に取り組まれた事例についてもぜひお知らせください。

総務省自治行政局 過疎対策室

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2

電 話 03-5253-5536

ファクス 03-5253-5538

この「地区力点検・創造の手引き(案)」及び「地区力点検ツール(案)」は、平成13年度に財団法人日本システム開発研究所に委託して実施した「過疎地域における集落の強化に関する調査」の成果をとりまとめたものです。

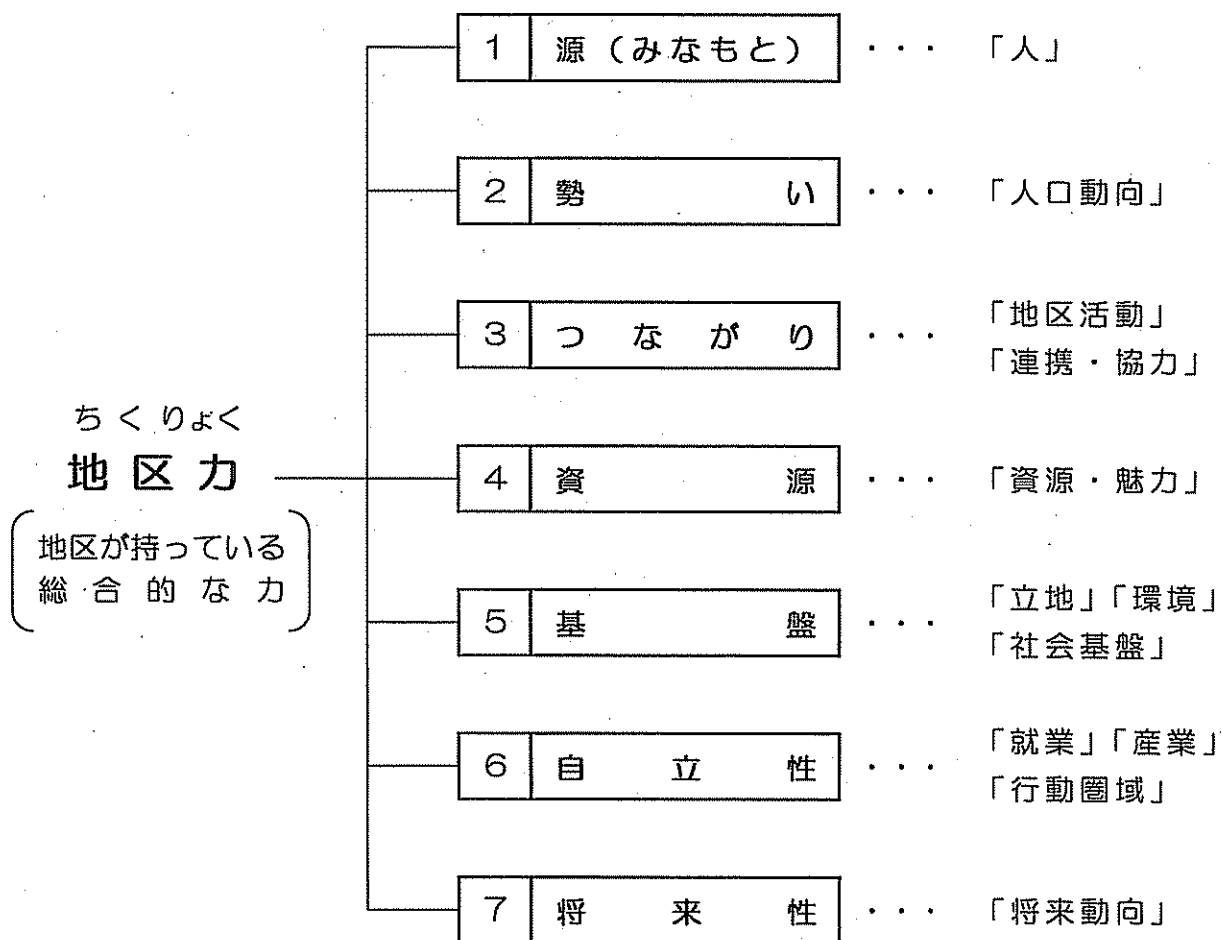
地区力点検チェックリスト

市町村名		地区名	
------	--	-----	--

平成 年 月 日 実施

地区力点検の構成

地区力点検の 7 要素



備 考

◆1 地区力の源（みなもと）を点検しよう

◎ 地区に住んでいる人について

<結果記入>

- ☐ 1-1 いくつの年齢の人が何人住んでいますか
(男女別・5歳階級別の人口) 点検シート P1
- ☐ 1-2 どのような人数の世帯がいくつありますか
(世帯人員別の世帯数) 点検シート P2
- ☐ 1-3 高齢者(65歳以上の人)だけで暮らしている世帯はいくつ
ありますか 点検シート P2
- ☐ 1-4 後継者やあとつぎがいて、現在一緒に住んでいる世帯はいく
つありますか 点検シート P2
- ☐ 1-5 地区のリーダーとなる人はいますか 点検シート P2

◎ 地区の外に住んでいる家族について

<結果記入>

- ☐ 1-6 地区に住む世帯のうち、他の地区(同じ市町村内)に家のあ
とつぎの人が住んでいる世帯はいくつありますか 点検シート P2
- ☐ 1-7 地区に住む世帯のうち、他の地区(同じ市町村内)に家族(子
どもや兄弟)が住んでいる世帯はいくつありますか 点検シート P2
- ☐ 1-8 他の地区や他の市町村に家族がいて、よく訪れてくるところ
は、地区に何世帯ありますか (週に1回以上) 点検シート P2
- ☐ 1-9 (続き)また、そのよく訪れてくる人は、地区であわせて何
人くらいいますか 点検シート P2
- ☐ 1-10 他の地区や他の市町村に家族がいて、時々訪れてくるところ
は、地区に何世帯ありますか (月に1~2回程度) 点検シート P2
- ☐ 1-11 (続き)また、その時々訪れてくる人は、地区であわせて何
人くらいいますか 点検シート P2
- ☐ 1-12 上記と同様に、地区に住む高齢者一人暮らしの世帯について 点検シート P2
はどうですか。
- ☐ 1-13 上記と同様に、地区に住む高齢者の夫婦のみの世帯について 点検シート P2
はどうですか。

◆2 地区力の勢い（いきおい）を点検しよう

◎ 地区の人口変化について

<結果記入>

- | | | |
|------------------------------|--------------------------|------------|
| ☐ 2-1 | 近年の地区の人口はどのように変化していますか | ⇒ 点検シート P3 |
| ☐ 2-2 | 近年の地区の世帯数はどのように変化していますか | ⇒ 点検シート P3 |
| ☐ 2-3 | 1世帯あたりの人数はどのように変化していますか | ⇒ 点検シート P3 |
| ☐ 2-4 | 近年の地区の高齢者数はどのように変化していますか | ⇒ 点検シート P3 |
| ☐ 2-5 | 近年の地区の若者数はどのように変化していますか | ⇒ 点検シート P3 |

◎ 地区の社会移動について

<結果記入>

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|------------|
| ☐ 2-6 | 最近の10年間で、他の地域へ転出した人・世帯はありますか | ⇒ 点検シート P4 |
| ☐ 2-7 | （続き）それはどのような理由でどこへ転出しましたか | ⇒ 点検シート P4 |
| ☐ 2-8 | 近年、地区外から転入した人・世帯はありますか | ⇒ 点検シート P4 |
| ☐ 2-9 | （続き）それはどのような理由ですか | ⇒ 点検シート P4 |
| ☐ 2-10 | 近年、他の地区・地域から戻ってきた人（子どもや兄弟など）はいますか | ⇒ 点検シート P4 |

◆3 地区力のつながりを点検しよう

◎ 地区の資産とその維持・管理について

<結果記入>

- ☐ 3-1 共同で利用・管理している施設はありますか
その利用・維持管理のやり方はどのようなものですか ⇒ 点検シート P5
- ☐ 3-2 共同で利用・管理している広場や公園等がありますか
その利用・維持管理のやり方はどのようなものですか ⇒ 点検シート P5
- ☐ 3-3 共同で利用・管理している土地や山林等がありますか
その利用・維持管理のやり方はどのようなものですか ⇒ 点検シート P5
- ☐ 3-4 共同で利用・管理している物品はありますか
その利用・維持管理のやり方はどのようなものですか ⇒ 点検シート P5
- ☐ 3-5 そのほか、地区住民が共同で利用・管理している資産や財産等がありますか ⇒ 点検シート P5

◎ 地区の作業・活動について

<結果記入>

- ☐ 3-6 地区としてどのような作業・活動を行っていますか ⇒ 点検シート P6
- ☐ 3-7 その作業・活動の頻度はどのくらいですか
(週1回、月1~2回など) ⇒ 点検シート P6
- ☐ 3-8 その作業・活動の内容、参加状況等はどうですか ⇒ 点検シート P6
- ☐ 3-9 これらの地区の作業・活動について、困ったことや気づいたことなどはありますか ⇒ 点検シート P6

◎ 地区内外の協力・連携について

<結果記入>

- ☐ 3-10 日常生活において、地区内でどのような助け合いがみられますか ⇒ 点検シート P7
- ☐ 3-11 地区における日常生活、家事などを助けてくれるグループや組織などがありますか(地区内・地区外) ⇒ 点検シート P7
- ☐ 3-12 親交やつながりの深い地区はありますか ⇒ 点検シート P7
- ☐ 3-13 他の地区と協力・連携して、何か活動や行事などを行っていますか その内容はどのようなものですか ⇒ 点検シート P7
- ☐ 3-14 今後、必要と思われる助け合いや協力は何ですか ⇒ 点検シート P7

◆4 地区力の資源を点検しよう

◎ 地区の資源・魅力について

<結果記入>

- | | | |
|------------------------------|-------------------------|------------|
| ☐ 4-1 | 地区の資源として、まず思い浮かぶものは何ですか | ⇒ 点検シート P8 |
| ☐ 4-2 | 地区の魅力として、まず思い浮かぶものは何ですか | ⇒ 点検シート P8 |
| ☐ 4-3 | 地区の自慢できるものは何ですか | ⇒ 点検シート P8 |

◎ 地区にある資源（有形・無形）について

<結果記入>

- | | | |
|-------------------------------|----------------------------|------------|
| ☐ 4-4 | 美しい自然環境・自然景観はありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-5 | 美しい街並み、建物はありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-6 | 見晴らしの良い場所がありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-7 | 風通しの良い場所がありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-8 | 居心地の良い場所がありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-9 | 美しい植物が生えているところがありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-10 | 野性の動物が生息しているところがありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-11 | 温泉がわいているところがありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-12 | 遺跡・史跡などがありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-13 | 魅力的な人はいいますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-14 | そのほか、どこにどのような資源がありますか | ⇒ 点検マップ 青字 |
| ☐ 4-15 | 点検マップによる作業で何か気づいたこと等がありますか | ⇒ 点検シート P8 |
| | | |
| ☐ 4-16 | 郷土芸能、伝統的芸術、工芸などがありますか | ⇒ 点検シート P8 |
| ☐ 4-17 | 郷土料理、食文化などがありますか | ⇒ 点検シート P8 |
| ☐ 4-18 | 伝統行事、祭りなどがありますか | ⇒ 点検シート P8 |
| ☐ 4-19 | 地域の特産物がありますか | ⇒ 点検シート P8 |
| ☐ 4-20 | そのほか、どのような資源がありますか | ⇒ 点検シート P8 |

◆5 地区力の基盤を点検しよう

◎ 地区の立地について

- ☐ 5-1 市役所・役場まで、どのくらい離れていますか
- ☐ 5-2 近くの小学校まで、どのくらい離れていますか
- ☐ 5-3 近くの病院、診療所等まで、どのくらい離れていますか
- ☐ 5-4 普段買物する場所まで、どのくらい離れていますか
- ☐ 5-5 近くのバス停まで、どのくらい離れていますか

<結果記入>

- ⇒ 点検シート P9
- ⇒ 点検シート P9
- ⇒ 点検シート P9
- ⇒ 点検シート P9
- ⇒ 点検シート P9

◎ 地区の環境について

- ☐ 5-6 子どもが遊べる場所がありますか
- ☐ 5-7 大人が遊べる場所がありますか
- ☐ 5-8 避難できる場所がありますか
- ☐ 5-9 空き家がありますか
- ☐ 5-10 災害の発生しやすい場所がありますか
- ☐ 5-11 交通事故が起こりやすい場所がありますか
- ☐ 5-12 見通しの悪い場所がありますか
- ☐ 5-13 少量の雨で水かさの増す川がありますか
- ☐ 5-14 そのほか、危険な場所がありますか
- ☐ 5-15 騒音・悪臭のある場所がありますか
- ☐ 5-16 獣害のある場所がありますか
- ☐ 5-17 景観が損なわれている場所がありますか

<結果記入>

- ⇒ 点検マップ 緑字
- ⇒ 点検マップ 緑字
- ⇒ 点検マップ 緑字
- ⇒ 点検マップ 緑字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字

◎ 地区の社会基盤について

- ☐ 5-18 道路・農道で荒れている場所がありますか
- ☐ 5-19 水路・側溝、下水道等で荒れている場所がありますか
- ☐ 5-20 農地、山林で荒れている箇所がありますか
- ☐ 5-21 公共施設や建物で荒れている場所がありますか
- ☐ 5-22 点検マップによる作業で何か気づいたこと等がありますか

<結果記入>

- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検マップ 赤字
- ⇒ 点検シート P9

◆6 地区力の自立性を点検しよう

◎ 地区の就業状況について

<結果記入>

- ☐ 6-1 地区に住む人のうち、働いている人はどのくらいいますか
(年齢階層別就業者数) ⇒ 点検シート P10
- ☐ 6-2 どのような産業にどれだけの人が働いていますか ⇒ 点検シート P10
- ☐ 6-3 同じ地区内で働いている人はどのくらいいますか ⇒ 点検シート P10
- ☐ 6-4 同じ市町村内の他の地区で働いている人はどのくらいいますか ⇒ 点検シート P10
- ☐ 6-5 近隣の市町村へ通勤している人はどのくらいいますか ⇒ 点検シート P10

◎ 地区の産業について

<結果記入>

- ☐ 6-6 地区内にはどのような事業所がありますか ⇒ 点検シート P11
- ☐ 6-7 地区ならではの産業(職場)はありますか ⇒ 点検シート P11
- ☐ 6-8 地区における農林業はどのような状況ですか ⇒ 点検シート P11
- ☐ 6-9 遊びやレジャー等で、他の地域から人は訪れてきますか ⇒ 点検シート P11

◎ 地区住民の行動圏域について

<結果記入>

- ☐ 6-10 近隣の都市部へ出かけるとしたら、どちらに出かけますか
どのくらいの人がどのくらいの頻度で出かけますか
そこに行くまでどのくらい時間がかかりますか ⇒ 点検シート P12
- ☐ 6-11 休日などに外出するとしたら、どちらに出かけますか
どのくらいの人がどのくらいの頻度で出かけますか
そこに行くまでどのくらい時間がかかりますか ⇒ 点検シート P12
- ☐ 6-12 どのあたり(範囲)までなら通勤可能ですか
そこに行くまでどのくらい時間がかかりますか
その範囲内にどのような職場がありますか ⇒ 点検シート P12

◆7 地区力の将来性を点検しよう

◎ 将来の地区の人口、世帯数について

<結果記入>

- ☐ 7-1 10年後を考えたとき、地区の人口はどのようなになっていると思いますか ➡ 点検シート P13
- ☐ 7-2 同様に、地区の若者数はどうなっていると思いますか ➡ 点検シート P13
- ☐ 7-3 同様に、地区の高齢者数はどうなっていると思いますか ➡ 点検シート P13
- ☐ 7-4 同様に、地区の世帯数はどうなっていると思いますか ➡ 点検シート P13
- ☐ 7-5 同様に、高齢者だけでの世帯（高齢者世帯）数はどうなっていると思いますか ➡ 点検シート P13

◎ 将来の地区の社会移動について

<結果記入>

- ☐ 7-6 地区において、現在は地区の外にいるが、将来戻ってきそうな人（家族等）はどのくらいいますか ➡ 点検シート P13
- ☐ 7-7 地区において、現在は地区の外にいるが、将来戻ってきてほしい人（家族等）はどのくらいいますか ➡ 点検シート P13
- ☐ 7-8 今後、地区から他の地区等へ移転・移住（転出）する人は増えそうですか ➡ 点検シート P13
- ☐ 7-9 今後、他の地区等から本地区へ移転・移住（転入）してくる人は増えそうですか ➡ 点検シート P13

◎ 将来の地区活動について

<結果記入>

- ☐ 7-10 今後の人口の変化などにより、現在の地区の活動・作業について、将来的にどのような状況が予想されますか ➡ 点検シート P13
- ☐ 7-11 そのほか、地区の将来について自由に記入してください ➡ 点検シート P13

地区力点検シート

市町村名		地区名	
------	--	-----	--

平成 年 月 日 実施

◆1 地区力の源(みなもと)を点検しよう

○地区の人口 (1-1)

(単位: 人)

年齢階層	10年前、地区に住んでいた人			現在、地区に住んでいる人		
	総 数	男	女	総 数	男	女
0～4 歳						
5～9 歳						
10～14 歳						
15～19 歳						
20～24 歳						
25～29 歳						
30～34 歳						
35～39 歳						
40～44 歳						
45～49 歳						
50～54 歳						
55～59 歳						
60～64 歳						
65～69 歳						
70～74 歳						
75～79 歳						
80 歳以上						
年齢不詳						
合 計						

※上記の人数は、行政担当者のほうで住民基本台帳等をもとにあらかじめ記入しておき、点検作業で確認・更新してください。

○地区の世帯数 (1-2, 1-3, 1-4)

(単位：世帯)

世帯人員 (同居)	10 年前、地区に住んでいた世帯				現在、地区に住んでいる世帯			
	総 数	高齢者だ けの世帯	後継者の いる世帯		総 数	高齢者だ けの世帯	後継者の いる世帯	
1 人								
2 人								
3 人								
4 人								
5 人以上								
不 詳								
合 計								

※上記の世帯数は、行政担当者のほうで住民基本台帳等をもとにあらかじめ記入しておき、点検作業で確認・更新してください。

○地区のリーダー (1-5)

- a. いる (人数： 年齢：)
b. いない

○地区の外に家族がいる世帯数 (1-6 から 1-13)

世帯のタイプ	地区の全世帯 について	高齢者の一人暮らしの世帯について	高齢者の夫婦のみの世帯について
他の地区(同じ市町村内)に家のあとつぎが住んでいる世帯	世帯	世帯	世帯
他の地区(同じ市町村内)に子どもや兄弟が住んでいる世帯	世帯	世帯	世帯
他の地区や他の市町村に、よく訪れてくる家族がいる世帯(週1回以上)	世帯	世帯	世帯
よく訪れてくる人の数(合計)	人	人	人
他の地区や他の市町村に、時々訪れてくる家族がいる世帯(月1~2回)	世帯	世帯	世帯
時々訪れてくる人の数(合計)	人	人	人

※よく訪れてくる目安、時々訪れてくる目安は、必要に応じて変更してください。

※1行目の「家のあとつぎ」と2行目の「子どもや兄弟」が重なる場合も、そのまま両方にカウントしてください。

◆2 地区力の勢い（いきおい）を点検しよう

○地区の人口変化（2-1 から 2-5）

項 目	記 入 欄
近年の人口の変化 （記入例） ・ 緩やかに増加 ・ 横ばい ・ 減少の傾向 など	
近年の世帯数の変化 （記入例） ・ 緩やかに増加 ・ 横ばい ・ 減少の傾向 など	
1世帯あたりの 人数の変化 （記入例） ・ 横ばい ・ やや減少 など	
近年の高齢者数の変化 （記入例） ・ 急激に増加 ・ 緩やかに増加 ・ 変化なし など	
近年の若者数の変化 （記入例） ・ やや増加 ・ 減少 ・ 変化なし など	
（追加欄）	

※（記入例）で示した視点を参考に、地区の状況や気づいたことを記入してください。

※点検シートの1～2ページにある人口や世帯数の表なども参考にしてください。

○地区の社会移動 (2-6 から 2-10)

項 目	記 入 欄
最近の10年間で他の地域へ転出した人・世帯 転出した理由と 転出先	a. ある [その人数 人] [その世帯数 世帯] b. ない c. わからない (※転出した人・世帯がある場合のみ記入)
近年、地区外から転入した人・世帯 転入した理由	a. ある [その人数 人] [その世帯数 世帯] b. ない c. わからない (※転入した人・世帯がある場合のみ記入)
近年、他の地区・地域から戻ってきた人 (子どもや兄弟など)	a. ある [その人数 人] b. ない c. わからない
(追加欄)	

※「a. ある」「b. ない」「c. わからない」は、どれか1つに○をつけてください。

※「転出した理由と転出先」「転入した理由」は、該当する人・世帯がある場合のみ、わかる範囲内で記入してください。

◆3 地区力のつながりを点検しよう

○地区の資産の利用・維持管理 (3-1 から 3-5)

共同利用・管理資産	利用・維持管理のやり方
地区住民が共同で利用・管理している施設 (具体的に何か) ・ ・ ・ ・	
地区住民が共同で利用・管理している広場や公園等 (具体的に何か) ・ ・ ・ ・	
地区住民が共同で利用・管理している土地や山林等 (具体的に何か) ・ ・ ・ ・	
地区住民が共同で利用・管理している物品 (具体的に何か) ・ ・ ・ ・	
そのほか、地区住民が共同で利用・管理している資産・財産 (具体的に何か) ・ ・ ・ ・	

※地区に該当する資産がある場合は、具体的に何かを左側の欄に記し、その利用・維持管理のやり方や気づいたことを右側の欄に記入してください。

○地区の作業・活動 (3-6 から 3-9)

地区の作業・活動	頻 度	内容や参加状況など
1 会合、寄り合い、集会などの開催		
2 道路の維持・管理 (補修、掃除、草とりなど)		
3 水路の維持・管理 (補修、掃除、草とりなど)		
4 公園、空地などの掃除、草とり		
5 農作業に関する共同作業		
6 祭り、イベント、伝統行事 などの実施・開催		
7 地区内の婚礼や葬式における 助け合い		
8 日用品、食料品などの共同購入		
9 ゴミ置き場の掃除・管理		
10 回覧板など、行政連絡の伝達		
11		
12		
13		

※地区で行っている作業・活動には、番号に○をつけ、その実施頻度(週1回、月1～2回などと記入)と作業・活動の内容、参加状況などを記入してください。

※地区の作業・活動は、地区の実情や必要性に応じて変更・追加してください。

上記の作業・活動について、困ったことや気づいたこと

○地区内外の協力・連携 (3-10 から 3-14)

項 目	記 入 欄
地区内でみられる 助け合い	
地区の日常生活、家事など を助けてくれるグループ、 組織等	a. 地区内にある [名称：]] b. 地区外にある [名称：]] c. ない
助けてくれる内容	(※助けてくれるグループ等がある場合のみ記入)
親交やつながりの深い地区	a. ある [地区名：]] b. ない
他の地区と協力・連携して 行っている活動や行事	a. ある b. ない
協力・連携している 活動・行事の内容	(※他の地区と協力・連携した活動・行事がある場合のみ記入)
今後、必要と思われる 助け合いや協力	

◆4 地区力の資源を点検しよう

○地区の資源・魅力（4-1 から 4-3 、4-15から 4-20）

項 目	記 入 欄
地区の資源として、 まず思い浮かぶもの	
地区の魅力として、 まず思い浮かぶもの	
地区の自慢できるもの	
マップを用いた資源の点 検作業を通して、気づいた こと、考えたことなど	
郷土芸能、伝統的芸術、 工芸など	
郷土料理、食文化など	
伝統行事、祭りなど	
地域の特産物	
そのほかの資源	

◆5 地区力の基盤を点検しよう

○主要施設までの道のりと所要時間（5-1 から 5-5）

主 要 施 設	道のり (km)	所要時間 (分)			
		徒歩で	バスで	自動車で	
市役所・役場まで					
小学校まで					
医療施設・病院まで					
普段買物する場所まで					
近くのバス停まで			—		

※地区の中心部からの道のりと所要時間を記入してください。（地区の状況に応じて出発地点を設定してください。）

※バスでの所要時間については、地区からバス停までの徒歩時間及び最寄のバス停から主要施設までの徒歩時間を含めて記入してください。

※バス路線がない場合、バス停までの道のりやバスの所要時間の欄には「—」と記入してください。

○地区の環境、社会基盤（5-22）

項 目	記 入 欄
マップを用いた環境、社会基盤の点検作業を通して、気づいたこと、考えたことなど	

◆6 地区力の自立性を点検しよう

○地区の産業別にみた就業人口（6-1、6-2）

（単位：人）

	就業者数							
	合計	農業	林業	建設業	サービス業			その他
総数								
15～29 歳								
30～64 歳								
65 歳以上								

※上記の人数は、行政担当者のほうで国勢調査等をもとにあらかじめ記入しておき、点検作業で確認・更新してください。

※職業の種類については、地区の状況に応じて適宜、修正・追加してください。

※兼業などで複数の業種に該当する場合は、主たる収入源のほうにカウントしてください。

○働く場所別にみた就業人口（6-3 から 6-5）

（単位：人）

	就業者数					
	合計	同じ地区内で仕事	他の地区で仕事	近隣の市町村で仕事		その他
総数						
15～29 歳						
30～64 歳						
65 歳以上						

※職場の設定については、地区の状況に応じて適宜、修正・追加してください。

※兼業などで複数の職場がある場合は、主たる収入源のほうにカウントしてください。

○地区の産業（6-6 から 6-9）

項 目	記 入 欄
地区内にある事業所 （記入例） ・ 職種 ・ 事業所数 ・ 規模 など	
地区ならではの産業、職場 （記入例） ・ 職種 ・ 事業所数 ・ 地区との関わり など	
地区の農林業の状況 （記入例） ・ 作物、面積 ・ 経営規模 ・ 農業従事の状況 など	
遊びやレジャー等の 訪問者の状況 （記入例） ・ 来客人数 ・ 時期、目的 ・ 地区での消費 など	
（追加欄）	

※（記入例）で示した視点を参考に、地区の状況や気づいたことを記入してください。

○地区住民の行動圏域 (6-10 から 6-12)

項 目		記 入 欄	
		その1	その2
近隣の都市部 への外出	行 先		
	出 かける 住 民 (何割くらいか)		
	出 かける 頻 度 (月・年に何回か)		
	所 要 時 間		
	備 考		
休日などの外出	主 な 行 先		
	出 かける 住 民 (何割くらいか)		
	出 かける 頻 度 (週・月に何回か)		
	所 要 時 間		
	備 考		
通勤可能な範囲	通 勤 先 (地区・市町村名)		
	通 勤 手 段		
	所 要 時 間		
	主 な 職 業、 職 種		
	備 考		

◆7 地区力の将来性を点検しよう

○将来の地区の人口・世帯数 (7-1 から 7-5)

項 目	(現 在)	10年後の予想	10年後の希望
将来の地区人口について	人	およそ 人	およそ 人
将来の若者数について (15～29 歳)	人	およそ 人	およそ 人
将来の高齢者数について (65 歳以上)	人	およそ 人	およそ 人
将来の地区の世帯数について	世帯	およそ 世帯	およそ 世帯
将来の高齢者世帯数について	世帯	およそ 世帯	およそ 世帯

※現在の値は、点検シートの1～2ページの表を参考に記入してください。

※「10年後の予想」の欄には、現在の状況から予想される人数・世帯数を記入し、「10年後の希望」の欄には、こうなっていきたいと思う人数・世帯数を記入してください。

○将来の地区の社会移動 (7-6 から 7-9)

項 目	記 入 欄
将来、地区に戻ってきそうな家族等	およそ 人くらい
将来、地区に戻ってきてほしい家族等	およそ 人くらい
今後、地区から転出する人	a. 増えそうである b. あまり変わらない c. 減りそうである d. その他 ()
今後、地区へ転入してくる人	a. 増えそうである b. あまり変わらない c. 減りそうである d. その他 ()

○将来の地区活動 (7-10)

地区の作業・活動	現 在	将来、予想される状況
1 会合、寄り合い、集会などの開催	有・無	
2 道路の維持・管理 (補修、掃除、草とりなど)	有・無	
3 水路の維持・管理 (補修、掃除、草とりなど)	有・無	
4 公園、空地などの掃除、草とり	有・無	
5 農作業に関する共同作業	有・無	
6 祭り、イベント、伝統行事 などの実施・開催	有・無	
7 地区内の婚礼や葬式における 助け合い	有・無	
8 日用品、食料品などの共同購入	有・無	
9 ゴミ置き場の掃除・管理	有・無	
10 回覧板など、行政連絡の伝達	有・無	
11 地区共有の施設の維持管理	有・無	
12 地区共有の土地・山林等の 維持管理	有・無	
13		

※現在の活動の有無について、点検シートの5ページ(上記No11,No12と対応)と6ページ(上記No1～No.10と対応)を参考に、「有」と「無」のどちらかに○をつけ、「有」の活動について、将来予想される状況を記入してください。

(7-11)

項 目	記 入 欄
その他 地区の将来について (自 由 記 入)	

ー 以上で終了です。お疲れ様でした。ー

地区力創造シート

市町村名		地区名	
------	--	-----	--

平成 年 月 日 実施

参考資料

- 実施済みの地区力点検シート（再整理したもの）
- 地区住民アンケート調査の集計結果（アンケートを実施した場合のみ）
- 地区情報整理テーブルで、当該地区の情報を出力したもの

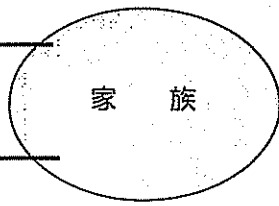
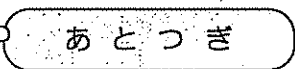
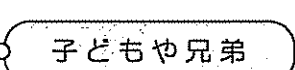
<地区の概況>

	10 年前	現 在	10 年 後		
			単純推計	住民の予想	住民の希望
人口（人）					
0～14 歳	（ %）	（ %）		—	—
15～29 歳	（ %）	（ %）			
30～64 歳	（ %）	（ %）		—	—
65 歳以上	（ %）	（ %）			
世帯数（世帯）					
高齢者世帯	（ %）	（ %）			
後継者のいる世帯	（ %）	（ %）		—	—

※上記の人数・世帯数は、実施済みの地区力点検シートをもとに、あらかじめ記入してください。

※単純推計は、10 年前から現在までの変化率をそのまま現在の値にかけて計算してください。

※（ %）には、地区全体の人口または世帯数に対する構成割合を記入してください。

本地区（全世帯）	 世帯	よく訪れる（計 ____ 人）	 家 族	他の地区 （他市町村含む）
	 世帯	時々訪れる（計 ____ 人）		
	 世帯 ○		 あとつぎ	他の地区 （同じ市町村）
	 世帯 ○		 子どもや兄弟	
（複数該当あり）				

※ 将来戻ってきそうな家族： ____ 人くらい、 将来戻ってほしい家族： ____ 人くらい

◆1. 地区力の源（みなもと）について

地区力点検の結果をもう一度見直してみよう

＜見直すときの視点（例）＞

- 現在、地区にはどのような年齢の人がどのくらい住んでいますか。
- 現在、地区にはどのような世帯がどのくらい住んでいますか。
- 1世帯あたりの人数（一緒に住んでいる家族の人数）はどのくらいですか。
- 地区の外に住んでいる家族は、どのくらいいますか。どのくらい地区を訪れていますか。
- 地区の外にいる家族のうち、地区を支えてくれそうな人はいますか。



ステップ1 点検結果からあらためて発見したこと、感じたことは何ですか？

ステップ2 今後どのようになるのが望ましいですか？

ステップ3 そのために地区としてどのようにしていきたいですか？

◆2. 地区力の勢い（いきおい）について

地区力点検の結果をもう一度見直してみよう

＜見直すときの視点（例）＞

- 地区の人口、世帯数は、近年どのように変わってきていますか。
- 1世帯あたりの人数（一緒に住む家族の人数）は増えていますか、減っていますか。
- 地区の高齢者や若者の数はどう変化していますか。増えていますか、減っていますか。
- どれだけの人がなぜ他の地区へ移ったのですか。逆にこの地区に移ってきたのですか。
- 以上のような傾向は、今後変わりそうですか。



ステップ1 点検結果からあらためて発見したこと、感じたことは何ですか？

ステップ2 今後どのようにするのが望ましいですか？

ステップ3 そのために地区としてどのようにしていきたいですか？

◆3. 地区力のつながりについて

地区力点検の結果をもう一度見直してみよう

＜見直すときの視点（例）＞

- 現在、地区ではどのような共同活動・作業をどのように行っていますか。
- 地区の作業・活動について、最近困っていることはありませんか。
- 地区内外の住民どうしの助け合いとして、どのようなことがありますか。
- 他の地区とどのような付き合いやつながりがありますか。それはうまくいっていますか。
- 地区の作業・活動について、他の地区と共同でできそうなものはありますか。



ステップ1 点検結果をみてあらためて発見したこと、感じたことは何ですか？

ステップ2 今後どのようなになるのが望ましいですか？

ステップ3 そのために地区としてどのようにしていきたいですか？

◆4. 地区力の資源について

地区力点検の結果をもう一度見直してみよう

＜見直すときの視点（例）＞

- 地区ならではの資源や魅力、自慢できるものは何ですか。
- 地区の住民だけが知っている素敵な場所や人、地域資源はありますか。
- 点検マップに記された資源（青字）をみて、地区の特徴などがみえてきましたか。
- 地区に古くから伝わっている伝統的な風習、芸能などがありますか。
- これらの地区の資源は、他の地域の人からみて魅力的だと思いますか。



ステップ1 点検結果をみてあらためて発見したこと、感じたことは何ですか？

ステップ2 今後どのようになるのが望ましいですか？

ステップ3 そのために地区としてどのようにしていきたいですか？

◆5. 地区力の基盤について

地区力点検の結果をもう一度見直してみよう

＜見直すときの視点（例）＞

- どのような条件のところに地区はありますか。
- 日常生活において、どのような交通手段を用いていますか。
- 点検マップに記された状況（赤字）をみて、地区に必要な取組がみえてきましたか。
- 地区の住民以外にとっても、危ないようなところがありますか。
- 地区における生活環境について、住民は満足していますか。



ステップ1 点検結果をみてあらためて発見したこと、感じたことは何ですか？

ステップ2 今後どのようになるのが望ましいですか？

ステップ3 そのために地区としてどのようにしていきたいですか？

◆6. 地区力の自立性について

地区力点検の結果をもう一度見直してみよう

＜見直すときの視点（例）＞

- 地区の住民は、主にどのような産業でどのように働いていますか。
- 地区に住みながら収入を得るためには、実際にどのような状況が考えられますか。
- 地区内で収入を得るには、実際にどのような状況が考えられますか。
- 住民の行動範囲はどのあたりまで含まれますか。もっと広がったほうがいいですか。
- 若者が地区に住む場合、通勤可能な範囲はどこまでですか。可能性はありますか。



ステップ1 点検結果をみてあらためて発見したこと、感じたことは何ですか？

ステップ2 今後どのようになるのが望ましいですか？

ステップ3 そのために地区としてどのようにしていきたいですか？

◆7. 地区力の将来性について

地区力点検の結果をもう一度見直してみよう

<見直すときの視点（例）>

- 地区の人口は今後どのようなになっていき、それによってどのようなことが予想されますか。
- 将来的に、地区に住む人がいなくなる可能性はありますか。
- 将来的に、地区に戻ってきそうな人、転入してきそうな人はどのくらいいますか。
- 地区が持っている様々な機能（共同作業、活動、資産管理など）は維持できそうですか。
- 幸せな将来を描くために、地区に何が必要ですか。



ステップ1 点検結果をみてあらためて発見したこと、感じたことは何ですか？

ステップ2 今後どのようなになるのが望ましいですか？

ステップ3 そのために地区としてどのようにしていきたいですか？